

「第5次香芝市総合計画」及び「香芝市まち・ひと・しごと創生総合戦略」

進捗確認について

1. 第5次香芝市総合計画について

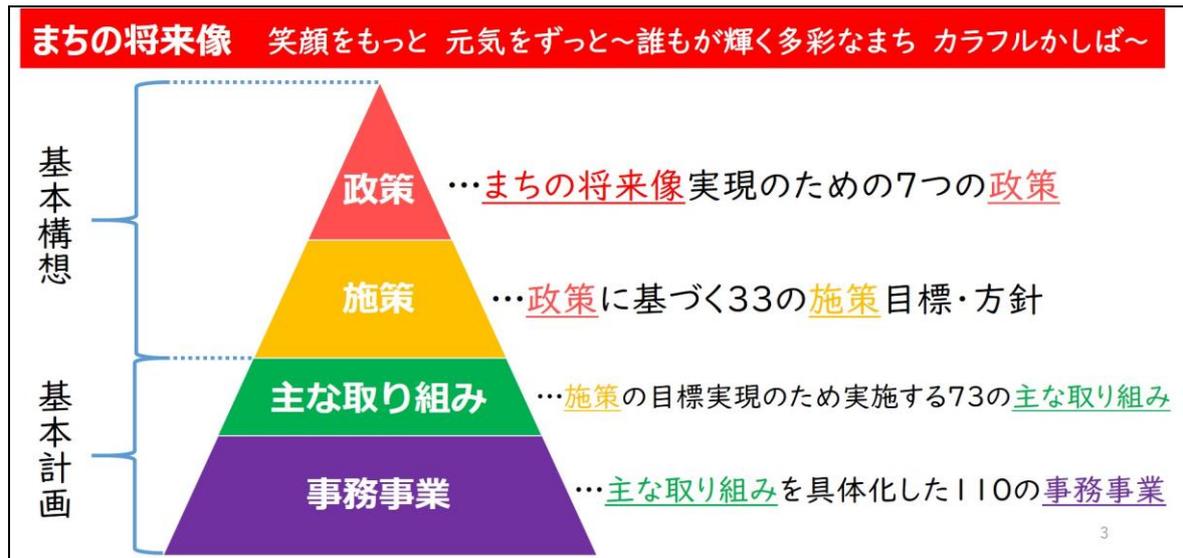
令和3年3月に策定した「第5次総合計画」は、「基本構想」と「基本計画」の2つから構成されています。「基本構想」は、長期的な視点からのまちづくりの方針とし12年、「基本計画」は、達成すべき個別の目標とその実現のための道筋を明らかにした具体的な方針として4年で見直しを図っていけるような計画としています。

計画の概要→「基本構想」冊子28ページ

【計画の期間】

年度	R 3 (2021)	R 4 (2022)	R 5 (2023)	R 6 (2024)	R 7 (2025)	R 8 (2026)	R 9 (2027)	R 10 (2028)	R 11 (2029)	R 12 (2030)	R 13 (2031)	R 14 (2032)
基本構想 【12年】	基本構想											
基本計画 【4年】	前期基本計画				中期基本計画				後期基本計画			

【計画の構成イメージ】



## 2. 香芝市まち・ひと・しごと創生総合戦略の位置付けについて

総合戦略の目的である「人口減少克服・地方創生」は、これからのまちづくりに欠かせない要素であり、総合計画の推進と不可分であることから、第5次総合計画に示す施策・主な取り組みのうち、「人口減少克服・地方創生」の実現に資する施策を抽出して示すことをもって、総合計画内に総合戦略が包含しているものと位置付けます。

第2期総合戦略→「前期基本計画」冊子112ページ

## 3. 総合計画および総合戦略の進捗管理について

政策・施策及び事業の実施内容について、指標等を用いて客観的に評価することにより、「事業の現状を認識し、課題の発見につなげ、改善案を考える」というPDCAサイクルのもと、毎年度行政評価を実施します。

### 【行政評価のながれ】

6月 <事前記入>

…「事業の実施計画」および「目標値」の設定

**目的** 事業の位置づけ・目的の確認、実施内容・指標設定の検討

8月 都市経営市民会議で審議

9月 <事中評価>

…3視点評価（必要性・有効性・効率性）による今後の方向性（成果・コスト）の決定

**目的** 事業の進捗確認、課題整理・改善点の分析、次年度の事業計画と必要予算の検討

1月 <事後評価>

…事業の実績評価、成果・課題点の分析

**目的** 事業の実績確認、最終的な次年度の方向性の決定

2月 都市経営市民会議で審議

4月 行政評価の公表（市ホームページ）

令和3年度 行政評価 進捗管理シート

凡例

政策名	1 未来を創造する子どもたちのために。(子育て・教育)
施策名	1 妊娠期から乳幼児期の切れ目ない支援

★ 目指す姿  
いつでも気軽に相談できる場所があり、地域に見守られ、のびのびと安心して子育てすることができる。



事前記入  
事中評価  
事後評価  
自動反映

■ 施策の主な取り組み

① 妊産婦の健康づくりの推進  
母子の健康管理をサポートすることで、安心して妊娠・出産・育児ができるよう支援します。また、不妊・不育症に悩む家族への支援を行います。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①-1	妊娠出産包括支援事業	妊娠・子育て・育児に関する各種相談・訪問・教室等を実施します。また、全妊婦に対して支援プランを作成し、特に支援を必要とされる方には電話支援や個別訪問等を継続して行います。	●

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	設定当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
プレママ教室(母親教室)参加満足度	%	プレママ教室参加者アンケートで「満足度」を80%以上と回答した人数/全回答者数	98.5	100	100	100
産後4か月の時点において香芝市で今後子育てしていきたい人の割合	%	4か月児健診時のアンケート(健やか親子21奈良県統一アンケート)で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人数/全回答者数	96.2	100	100	100

前年度実績値 (R2)	今年度の進捗				担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (R6年度比)	
					健康部 保健センター
					健康部 保健センター

② 乳幼児の健康づくりの推進

乳幼児健診、家庭訪問等を実施し、乳幼児にかかる母子の健康づくりを推進するとともに、子育て不安の解消、養育支援、病気や虐待の未然防止、早期発見に努めます。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②-1	乳幼児健診事業	乳幼児の節目の年齢(4か月・1歳6か月・3歳6か月)において健診を実施し、成長・発達の確認を行います。	●
②-2	乳幼児相談及び教室事業	乳幼児期に関する相談のほか、歯びか教室、離乳食教室、子育て交流会等を行います。	●
②-3	こんにちは赤ちゃん事業	生後4か月までの乳児がいるすべての家庭を助産師等が訪問します。特に支援を必要とされる母子には継続して訪問します。	●

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	設定当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
乳幼児健診受診率	%	各健診受診者数/4か月児健診、1歳6か月児健診、3歳6か月児健診対象者数	97.2	98.2	98.4	98.6
こんにちは赤ちゃん訪問率	%	訪問世帯数/生後4か月までの子どもがいる世帯数	86.7	100	100	100

前年度実績値 (R2)	今年度の進捗				担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (R6年度比)	
					健康部 保健センター
					福祉部 児童福祉課

■ 実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価			今後の方向性			担当所管
		実績と課題	担当課評価 (A/B/C)	3視点 必要性 有効性 効率性	所管判定		方向性の内容	
成果の方向性	コストの方向性							
①-1	妊娠出産包括支援事業	【実績】 ・ ・ 【課題】 ・ ・			成果の方向性 コストの方向性	成果の方向性 コストの方向性	健康部 保健センター	
②-1	乳幼児健診事業	【実績】 ・ ・ 【課題】 ・ ・			成果の方向性 コストの方向性	成果の方向性 コストの方向性	健康部 保健センター	
②-2	乳幼児相談及び教室事業	【実績】 ・ ・ 【課題】 ・ ・			成果の方向性 コストの方向性	成果の方向性 コストの方向性	健康部 保健センター	
②-3	こんにちは赤ちゃん事業	【実績】 ・ ・ 【課題】 ・ ・			成果の方向性 コストの方向性	成果の方向性 コストの方向性	福祉部 児童福祉課	

■ 施策の方向性(改善策)

次年度の方向性	
---------	--

担当課評価		成果の方向性		コストの方向性	
A	事業	拡充	事業	拡大	事業
B	事業	現状維持	事業	現状維持	事業
C	事業	縮小	事業	縮小	事業
		休廃止	事業	休廃止	事業

【担当課評価】  
A: 順調に進捗しており、継続して事業を推進する  
B: 進捗が遅れており、改善しながら継続して事業を推進する  
C: 進捗状況が悪く、事業の見直しを要する

【成果の方向性】  
・拡充 ……今年度以上に成果を拡充する場合  
・現状維持 ……今年度と同等の成果を維持する場合  
・縮小 ……「費用対効果が低い」「市が実施する必要性がない」等の理由で事業を縮小する場合  
・休廃止 ……「費用対効果が低い」「市が実施する必要性がない」等の理由で事業を休止または廃止する場合

【コストの方向性】  
・拡大 ……予定よりもコストを拡大する場合  
・現状維持 ……今年度と同等のコストを維持する場合  
・縮小 ……①「費用対効果が低い」「市が実施する必要性がない」等の理由で事業を縮小する場合  
②「民間委託」「市民協働」等の導入により、コストが削減できる場合  
・休廃止 ……上記①の理由等で、事業を休止または廃止する場合

## 令和3年度 行政評価 進捗管理シート 目次

## 第5次香芝市総合計画前期基本計画の施策体系

政策	ページ	施策	主な取り組み
1 未来を創造する子どもたちのために。 (子育て・教育)	1	妊娠期から乳幼児期の切れ目ない支援	①妊産婦の健康づくりの推進 ②乳幼児の健康づくりの推進
	2	子育て支援の充実	①子育て家庭への支援 ②児童虐待防止の推進
	3	就学前教育・保育の充実	①就学前教育・保育の推進 ②就学前教育・保育環境の整備
	4	学校教育の充実	①学びの推進・支援 ②安心して学べる教育環境の整備
	5	家庭・地域・学校の連携	①地域ぐるみの子ども支援 ②青少年の健やかな育成
2 健康で自分らしく過ごせる毎日のために。 (健康・福祉)	6	地域福祉の推進	①総合的な福祉サービスの提供 ②地域で支え合う仕組みづくり
	7	医療提供体制の充実	①地域医療体制の充実 ②感染症対策の推進
	8	健康づくりの推進	①健康的な生活習慣の推進 ②心の健康づくりの推進 ③望ましい食生活の定着推進
	9	高齢者福祉の充実	①自立支援・介護予防・重度化防止の推進 ②日常生活を支援する体制の整備 ③介護保険給付の適正化
	10	障がい者福祉の充実	①障がい者が地域で安心して暮らせる仕組みづくり
	11	生活困窮者支援の充実	①生活困窮者への相談支援・就労支援の充実
3 誰もが等しく、生涯輝き続けるために。 (人権・協働・文化)	12	人権・多様性の尊重	①人権啓発の推進と学習機会の提供 ②男女共同参画によるまちづくりの推進
	13	地域コミュニティの醸成・活性化	①自治会活動の支援 ②市民公益活動団体の支援
	14	文化芸術の振興・多文化共生	①文化の発信・創造・交流の支援 ②多文化理解と国際交流の推進
	15	生涯学習とスポーツ活動の充実	①生涯学習機会の充実 ②スポーツ活動の充実 ③図書館機能の充実
	16	歴史文化財の保存と継承・展開	①二上山博物館機能の充実 ②文化財の保護・啓発
4 まちの活力と魅力の向上のために。 (産業・観光)	17	商工業の振興	①企業の活性化 ②創業の促進
	18	農業の振興	①農業体制の整備および市内農作物の魅力創造
	19	観光の振興	①観光情報の発信 ②観光資源の魅力向上
5 まちと人の安全・安心のために。 (安全・安心)	20	災害対策の強化	①災害時緊急体制の確立 ②防災・減災対策の強化 ③消防団体制の充実 ④自主防災力の向上
	21	生活安全対策の強化	①防犯意識の向上 ②消費者保護の推進
	22	交通安全対策の強化	①交通安全対策の推進 ②交通安全施設の整備
6 自然と調和した快適で便利な暮らしのために。 (自然・環境・都市基盤)	23	環境問題への取り組み強化	①ごみ減量と資源化の推進 ②環境保全対策の推進
	24	自然環境・景観の保全	①美しい自然環境・景観の保全
	25	良好な市街地・持続可能な公共交通ネットワークの形成	①良好な市街地の形成 ②持続可能な地域公共交通の確立
	26	生活基盤・地域拠点の整備・機能の充実	①公園整備の推進 ②バリアフリー化の推進 ③地域拠点としての駅周辺整備
	27	道路整備の充実	①幹線道路の整備 ②生活道路等の安全性の確保
	28	上水道の基盤強化	①安心、安全、安定した水道の供給 ②健全な水道事業の運営
	29	下水道の整備	①下水道の整備・更新 ②水洗化の促進 ③持続的な下水道機能の確保
	30	行財政運営の最適化	①総合計画・総合戦略の進行管理 ②財政運営の健全化 ③公有財産の維持管理及び活用
7 スマートでスリムな行政運営の確立のために。 (行政経営)	31	歳入の確保と財源の創出	①適正課税の推進および収納(徴収)率の向上 ②財産調査の強化と適正な債権管理 ③自主財源の確保
	32	情報とICTの利活用	①市政情報の提供と広報力の強化 ②ICTを活用した業務の効率化・利便性の向上 ③情報セキュリティの確保
	33	行政組織の活性化・組織力の強化	①適正な人事評価 ②職員研修の推進 ③効果的な人員配置

政策名	1 未来を創造する子どもたちのために。(子育て・教育)
施策名	1 妊娠期から乳幼児期の切れ目ない支援

★ 目指す姿

いつでも気軽に相談できる場所があり、地域に見守られ、のびのびと安心して子育てすることができる。



SDGs該当分野



■ 施策の主な取り組み

① 妊産婦の健康づくりの推進

母子の健康管理をサポートすることで、安心して妊娠・出産・育児ができるよう支援します。また、不妊・不育症に悩む家族への支援を行います。

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
プレママ教室(母親教室)参加満足度	%	プレママ教室参加者アンケートで「満足度」を80%以上と回答した人数/全回答者数	98.5	100	100	100
産後4か月の時点において香芝市で今後子育てしていきたい人の割合	%	4か月児健診時のアンケート(健やか親子21奈良県統一アンケート)で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人数/全回答者数	96.2	100	100	100

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①-1	妊娠出産包括支援事業	妊娠・子育て・育児に関する各種相談・訪問・教室等を実施します。また、全妊婦に対して支援プランを作成し、特に支援を必要とされる方には電話支援や個別訪問等を継続して行います。	●

前年度実績値 (R2)	今年度の進捗				担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	
87.5	100				健康部 保健センター
97	100				健康部 保健センター

② 乳幼児の健康づくりの推進

乳幼児健診、家庭訪問等を実施し、乳幼児にかかる母子の健康づくりを推進するとともに、子育て不安の解消、養育支援、病気や虐待の未然防止、早期発見に努めます。

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
乳幼児健診受診率	%	各健診受診者数/4か月児健診、1歳6か月児健診、3歳6か月児健診対象者数	97.2	98.2	98.4	98.6
こんにちは赤ちゃん訪問率	%	訪問世帯数/生後4か月までの子どもがいる世帯数	86.7	100	100	100

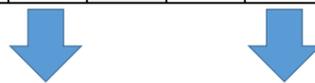
■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②-1	乳幼児健診事業	乳幼児の節目の年齢(4か月・1歳6か月・3歳6か月)において健診を実施し、成長・発達を確認を行います。	●
②-2	乳幼児相談及び教室事業	乳幼児期に関する相談のほか、歯びか教室、離乳食教室、子育て交流会等を行います。	●
②-3	こんにちは赤ちゃん事業	生後4か月までの乳児がいるすべての家庭を助産師等が訪問します。特に支援を必要とされる母子には継続して訪問します。	●

前年度実績値 (R2)	今年度の進捗				担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	
97.5	98				健康部 保健センター
90.4	100				福祉部 児童福祉課

■ 実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価			今後の方向性		担当所管
		実績と課題	担当課 評価 (A/B/C)	3視点 必要性 有効性 効率性	所管判定		
今年度の事業実施計画					方向性の内容		
①-1	妊娠出産包括支援事業	【実績】 ・妊婦をともに専門職が面接を行い、個別計画の作成や母子健康手帳及び妊婦健診補助券の交付を行う。 【課題】 ・妊娠前から専門職がプレママ教室や電話相談・訪問等を実施し、育児不安の軽減等に努め、切れ目ない支援を行う。			【成果の方向性】 ・ 【コストの方向性】 ・	健康部 保健センター	
②-1	乳幼児健診事業	【実績】 ・疾病を早期発見し治療に繋ぐため、乳幼児健診を実施する。 ・発達・発育の確認及び育児相談を行う。 ・虐待を早期に発見し関係機関と連携し支援に繋ぐ。 【課題】 ・			【成果の方向性】 ・ 【コストの方向性】 ・	健康部 保健センター	
②-2	乳幼児相談及び教室事業	【実績】 ・乳幼児期の育児相談や栄養相談を専門職が個別に実施する。 ・歯びか教室や離乳食教室等専門職が集団で指導する。 【課題】 ・			【成果の方向性】 ・ 【コストの方向性】 ・	健康部 保健センター	
②-3	こんにちは赤ちゃん事業	【実績】 ・乳児のいるすべての家庭を訪問し、様々な不安や悩みを聞き、子育て支援に関する情報提供等を行う。 ・母子の心身の状況や養育環境等の把握及び助言を行い、支援が必要な家庭に対し適切なサービスの提供に繋げる。 ・特に養育が必要な家庭や児童虐待のリスクの高い家庭に対して、養育支援訪問(専門的支援・家事支援)に繋ぎ、継続した支援を実施する。 【課題】 ・			【成果の方向性】 ・ 【コストの方向性】 ・	福祉部 児童福祉課	



■ 施策の方向性(改善策)

次年度の方向性	
---------	--

担当課評価	
A	事業
B	事業
C	事業

成果の方向性		コストの方向性	
拡充	事業	拡大	事業
現状維持	事業	現状維持	事業
縮小	事業	縮小	事業
休廃止	事業	休廃止	事業

政策名	1 未来を創造する子どもたちのために。(子育て・教育)
施策名	2 子育て支援の充実

★ 目指す姿

地域の中で、周りの人々に支えられ、喜びや楽しさを感じながら安心して子育てができている。



SDGs該当分野



■ 施策の主な取り組み

① 子育て家庭への支援

子育てに関する経済的・精神的な負担や不安を軽減するために、子育て支援拠点の機能の充実、子育て相談、相互協力の仕組みづくり、情報提供、助言等さまざまな取り組みを推進し、一人ひとりのニーズに合ったサービスにつなげます。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①-1	地域子育て支援拠点事業	乳幼児及びその保護者がつどえる場を確保するとともに、育児コーディネーターが巡回し、子育て相談等を行います。また、4か月児への絵本配布(ブックスタート)、相互協力の仕組みづくり(ファミリーサポート)等を行います。	●
①-2	ひとり親家庭相談・支援事業	相談窓口を設置し、助言・支援を行うほか、教育訓練講座の受講及び、資格取得の促進等のための補助を行います。また、自立支援プログラムを策定して、ハローワークと連携し、就労までをサポートします。	●

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初	目標値		
			(R1)	R6	R10	R14
3つの子育て支援拠点で開催する行事の参加率	%	参加者数/3つの子育て支援拠点で年1回ずつ開催する行事の定員総数	72.5	100	100	100
ファミリーサポートセンター新規登録者数	人	ファミリーサポートセンターのおねがい会員・サポート会員の新規登録者数	49	50	50	50
自立支援プログラム策定により就労につながった割合	%	就労につながった件数/就労を目標とした自立支援プログラムの策定件数	0	100	100	100

前年度実績値 (R2)	目標値	今年度の進捗			担当所管
		中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	
93	—			コロナ禍の影響による行事中止	福祉部 児童福祉課
37	50				福祉部 児童福祉課
0	100				福祉部 児童福祉課

② 児童虐待防止の推進

香芝市要保護児童対策地域協議会が中心となり、関係機関と連携して、児童虐待の未然防止、早期発見に努めます。また、相談窓口について広く周知し、地域全体で児童虐待を見逃さない取り組みを進めます。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②-1	家庭児童相談・支援事業	関係機関連携のもと、支援検討会議等を実施。対象児童の支援プランを作成し、継続した訪問等の支援を行います。	●

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初	目標値		
			(R1)	R6	R10	R14
児童虐待防止の啓発回数	回	広報誌等による啓発回数	14	15	15	15
児童虐待終結率	%	香芝市要保護児童対策協議会において終結と判断されたケース/虐待として管理しているケース	61	70	70	70

前年度実績値 (R2)	目標値	今年度の進捗			担当所管
		中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	
17	17			出前講座による啓発3回を含む	福祉部 児童福祉課
64.5	65				福祉部 児童福祉課

■ 実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価			今後の方向性		担当所管
		実績と課題	担当課評価 (A/B/C)	3視点 必要性 有効性 効率性	方向性の内容		
①-1	地域子育て支援拠点事業				【実績】 ・つどいの広場に育児コーディネーターが巡回相談(3回/週)し、育児相談を実施する。委託事業者と通年の催し物や育児相談等の情報交換会を実施(3回/年)する。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止に留意した運営を実施する。 ・つどいの広場利用者増加に向けて、4か月児健診時にチラシの配布をする。		
①-2	ひとり親家庭相談・支援事業	【実績】 ・児童扶養手当現況届時に個別面談を約700人に実施し、就労状況等の確認をする。 ・未就労の方には、自立支援プログラム策定により、就労支援を図る。また、同時にひとり親支援事業制度の啓発チラシを配布し、制度の周知を図る。 ・広報等による制度の周知啓発(広報紙掲載 8月・1月の2回)			【成果の方向性】 ・【コストの方向性】	福祉部 児童福祉課	
②-1	家庭児童相談・支援事業	【実績】 ・児童虐待防止啓発のため、8月に自治会約2,500の班に対して児童虐待のチラシの回覧を依頼する。オレンジリボンキャンペーン(11月の予防強化月間)ののほりを市本庁舎及び総合福祉センターに設置。幼稚園・認定こども園・小学校等に、ポケットティッシュを配布。 ・市職員にオレンジリボンを配布。民生委員・教職員に研修会を実施。広報紙(10月号)に「児童虐待について」を掲載。 ・要保護児童対策地域協議会の代表者会議(1回/年)、実務者会議(3回/年)、支援検討会議(1回/週)を開催する。 ・ファミリーサポートセンター事業の周知の強化のため、4か月児健診・自治会(8月)・つどいの広場でチラシの配布。広報紙(10月号)に「利用者の声等の内容を」掲載し、利用の促進を図り、会員数を増やすように努める。			【成果の方向性】 ・【コストの方向性】	福祉部 児童福祉課	



■ 施策の方向性(改善策)

次年度の方向性	
---------	--

担当課評価	
A	事業
B	事業
C	事業

成果の方向性		コストの方向性	
拡充	事業	拡大	事業
現状維持	事業	現状維持	事業
縮小	事業	縮小	事業
休廃止	事業	休廃止	事業

政策名	1 未来を創造する子どもたちのために。(子育て・教育)
施策名	3 就学前教育・保育の充実

★ 目指す姿

子どもたちが、安全・安心で健やかに成長することができる環境で充実した教育・保育を受けている。



SDGs該当分野



■ 施策の主な取り組み

① 就学前教育・保育の推進

幼稚園・保育所・認定こども園が連携し、健やかな育ちを保障する質の高い教育・保育を行うとともに、仕事と子育ての両立を支援する保育サービスの充実を図ります。また、今後の子どもの人数の推移に合わせ、効果的・効率的な運営を推進します。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①-1	保育所・幼稚園・認定こども園運営事業	延長保育や預かり保育などの保育サービスの実施、小規模保育施設の新設や市立幼稚園の認定こども園化による保育利用率の拡大、3年保育の拡充を進めます。また、園庭の開放や未就園児との交流等、地域の子育てをサポートする事業を実施します。	●
①-2	特別保育等補助事業	私立の保育施設が行う園の整備や延長保育・一時預かり・病児保育など多様な保育サービスに対して補助を行います。	●

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
保育所等の待機児童数	人	4月1日時点の保育所等利用待機児童数(厚生労働省の要領による)	0	0	0	0
保育サービスの実施数	事業	4月1日時点において市立及び私立保育所・幼稚園・認定こども園で実施している延長保育・病児保育・一時預かり事業(一般型/幼稚園型)の数	46	49	51	51
認定こども園の設置数	施設	4月1日時点の市内の認定こども園数(累計)	9	11	12	13

前年度実績値 (R2)	今年度の進捗				担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	
0	0				教育部 こども課
47	48				教育部 こども課
9	9				教育部 こども課

② 就学前教育・保育環境の整備

子どもたちが安全・安心、快適に過ごせるよう、施設の老朽化対策として長寿命化に取り組むほか、時代のニーズに応じて施設全般の環境向上や機能の維持・向上を図ります。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②-1	幼稚園・保育所・認定こども園施設整備事業	子どもの人数の推移に合わせて計画的に施設の再編や整備を行います。また、状況に応じて修繕等、日々の維持管理を行います。	●

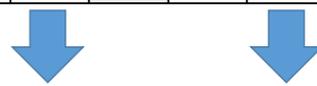
◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
保育所・幼稚園・認定こども園施設の長寿命化	棟	長寿命化改修工事が完了した棟数(令和2年度からの累計)	0	3	5	5

前年度実績値 (R2)	今年度の進捗				担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	
0	1				教育部 教育総務課

■ 実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価			今後の方向性		担当所管
		実績と課題	担当課 評価 (A/B/C)	3視点 必要性 有効性 効率性	所管判定		
方向性の内容					成果の方向性	コストの方向性	
①-1	保育所・幼稚園・認定こども園運営事業	【実績】 ・延長保育、預かり保育などの保育サービスの実施 ・鎌田小学校区において小規模保育所を公募し、令和4年4月開園予定 ・真美ヶ丘東幼稚園を令和4年度より認定こども園化 ・園庭開放、未就園児との交流などの地域の子育てサポートの実施				【成果の方向性】 ・ 【コストの方向性】 ・	教育部 こども課
①-2	特別保育等補助事業	【実績】 ・私立の保育施設が行う園の整備や延長保育・一時預かり・病児保育など、多様な保育サービスに対する補助の実施				【成果の方向性】 ・ 【コストの方向性】 ・	教育部 こども課
②-1	幼稚園・保育所・認定こども園施設整備事業	【実績】 ・真美ヶ丘東幼稚園の認定こども園化改修と同時に長寿命化工事 ・認定こども園鎌田幼稚園の駐車場改修工事及び遊具設置工事 ・各幼稚園・保育所・認定こども園施設改修工事				【成果の方向性】 ・ 【コストの方向性】 ・	教育部 教育総務課



■ 施策の方向性(改善策)

次年度の方向性	・
---------	---

担当課評価	
A	事業
B	事業
C	事業

成果の方向性		コストの方向性	
拡充	事業	拡大	事業
現状維持	事業	現状維持	事業
縮小	事業	縮小	事業
休廃止	事業	休廃止	事業

政策名	1 未来を創造する子どもたちのために。(子育て・教育)
施策名	4 学校教育の充実

★ 目指す姿

すべての児童・生徒が安全に安心して、主体的・対話的で深い学びができる環境が整っている。



SDGs該当分野



■ 施策の主な取り組み

① 学びの推進・支援

一人ひとりの教育的ニーズを把握し、適切な指導及び必要な支援を行うことで、学ぶ意欲と確かな学力を身に付け、未来を担う子どもたちを育成します。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①-1	学力向上推進事業	知・徳・体のバランスの取れた教育内容(読書活動、外国語教育、道徳教育、体力向上等)の充実を図り、学ぶ楽しさと分かる喜びが実感できる授業の創造に向けて、教職員の資質向上を進めます。	●
①-2	教育相談支援事業	一人ひとりに応じた学習環境(特別支援教育・教育相談)を提供します。また、福祉等の関係機関と連携して、いじめの防止や不登校児童生徒の支援に取り組むなど、きめ細かな教育を進めます。	●

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初	目標値		
			(R1)	R6	R10	R14
学校に行くのが楽しい子どもの割合	%	全国学力・学習調査(文部科学省)で「楽しいと思う」「どちらかと言えばそう思う」と回答した人数/全回答者数(小学校5年生・中学校2年生対象)	84.0	84.4	84.8	85.2
国語・算数(数学)の勉強が好きなお子さんの割合	%	全国学力・学習調査(文部科学省)で「好き」とどちらかと言えば好き」と回答した人数/全回答者数(小学校5年生・中学校2年生対象)	62.0	64.0	66.0	68.0
国語・算数(数学)の平均正答率	%	全国学力・学習調査(文部科学省)で問題に正解した人数/全回答者数(小学校5年生・中学校2年生対象)	65.0	67.0	69.0	71.0
児童・生徒のICT活用を指導する能力	%	学校における教育の情報化の実態等に関する調査(文部科学省)で指導する能力4項目に対して「できる」「ややできる」と回答した教員数/全回答者数(市内小中学校教員対象)	56.0	61.0	66.0	67.0

前年度実績値 (R2)	目標値	今年度の進捗			担当所管
		中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	
-	84.1				教育部 学校支援室
-	62.5				教育部 学校支援室
-	65.5				教育部 学校支援室
69	72				教育部 学校支援室

② 安心して学べる教育環境の整備

児童生徒が安全で快適に学校生活を送れるよう、学校施設の老朽化対策として長寿命化に取り組むほか、施設全般の環境向上や機能の維持・向上を図ります。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②-1	小学校施設維持管理事業	子どもの人数の推移に合わせて計画的に施設の再編や整備を進めるとともにICTを活用し、児童生徒がより主体的・協働的に学習できる環境づくりを進めます。また各小学校施設の状況に応じて修繕する等、日々の維持管理を行い、並行してトイレの洋式化を進めます。	●
②-2	中学校施設維持管理事業	子どもの人数の推移に合わせて計画的に施設の再編や整備を進めるとともにICTを活用し、児童生徒がより主体的・協働的に学習できる環境づくりを進めます。また各中学校施設の状況に応じて修繕する等、日々の維持管理を行い、並行してトイレの洋式化を進めます。	●

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初	目標値		
			(R1)	R6	R10	R14
小学校・中学校施設の長寿命化	棟	長寿命化改修工事が完了した棟数(令和2年度からの累計)	0	0	10	19
学校トイレの洋式化	%	トイレの洋式化改修工事が完了した便器数(累計)/改修工事対象便器総数	39.2	68.4	93.0	99.5

前年度実績値 (R2)	目標値	今年度の進捗			担当所管
		中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	
0	0				教育部 教育総務課
50.9	54.4				教育部 教育総務課

■ 実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価			今後の方向性		担当所管
		実績と課題	担当課評価 (A/B/C)	3視点 必要性 有効性 効率性	所管判定 成果の方向性 コストの方向性	方向性の内容	
①-1	学力向上推進事業						【実績】 ・学校支援室によるアドバイザー訪問の実施 ・若手教員支援プログラムによる教科指導力、生徒指導力等の充実 ・外国語指導助手による英語教育 ・学校図書整備及び児童生徒の読書習慣の確立
①-2	教育相談支援事業	【実績】 ・いじめ不登校等対応委員会の開催 ・就学相談及び就学指導委員会の実施 ・スクールカウンセラーの配置 ・不登校児童生徒を対象とした支援スタッフの派遣	【課題】			【成果の方向性】 ・ 【コストの方向性】 ・	教育部 学校支援室
②-1	小学校施設維持管理事業	【実績】 ・関屋小学校中規模改修工事設計 ・三和小学校公共下水道接続工事 ・五位堂小学校外部トイレ・体育館トイレ洋式化改修工事(前年度繰越事業) ・各小学校改修工事等	【課題】			【成果の方向性】 ・ 【コストの方向性】 ・	教育部 教育総務課
②-2	中学校施設維持管理事業	【実績】 ・香芝中学校トイレ改修工事 ・香芝西中学校受変電設備改修工事 ・香芝北中学校体育館トイレ改修工事(前年度繰越事業) ・各中学校改修工事等	【課題】			【成果の方向性】 ・ 【コストの方向性】 ・	教育部 教育総務課

■ 施策の方向性(改善策)

次年度の方向性	
---------	--

担当課評価	
A	事業
B	事業
C	事業

成果の方向性		コストの方向性	
拡充	事業	拡大	事業
現状維持	事業	現状維持	事業
縮小	事業	縮小	事業
休廃止	事業	休廃止	事業

政策名	1 未来を創造する子どもたちのために。(子育て・教育)
施策名	5 家庭・地域・学校の連携

★ 目指す姿

地域ぐるみで子どもを育て、教育するという意識が共有されており、地域の大人に見守られて子どもがいそいそと活動している。



SDGs該当分野



■ 施策の主な取り組み

① 地域ぐるみの子どもの支援

経験や専門性をもった地域の人材の参画を進め、家庭と地域と学校が効果的に連携を取り合い、地域ぐるみの教育力向上に取り組めます。また、児童が放課後を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動ができるような居場所づくりを進めます。

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
学校・地域パートナーシップ事業地域ボランティア参加者数	人	学校・地域パートナーシップ事業地域ボランティア年間延べ参加者数	35,695	36,000	38,000	40,000
学童保育所の待機児童数	人	5月1日時点の待機児童数	6	0	0	0

前年度実績値 (R2)	目標値	今年度の進捗			担当所管
		中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	
33,284	35,700	コロナ禍の影響による教室等の中止			教育部 生涯学習課
9	0				教育部 こども課

② 青少年の健やかな育成

青少年の社会性の萌芽や新たな気付き、地域の魅力発見につながる機会の創出、また地域・家庭・学校・行政等が連携して青少年の健全育成に資する環境づくりを進めます。

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
青少年交流事業参加者数	人	子どもフェスティバル及び青少年指導員協議会等による体験学習の参加者数	2,390	2,500	2,500	2,500
「少年の主張」作文参加割合	%	「少年の主張」作文応募者数/対象学年総数(小学校5・6年生及び中学校1・2・3年生)	83.8	84	85	86

前年度実績値 (R2)	目標値	今年度の進捗			担当所管
		中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	
0	2,400	コロナ禍の影響により全事業中止			教育部 生涯学習課
74.9	84				教育部 生涯学習課

■ 実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価			今後の方向性			担当所管
		実績と課題	担当課 評価 (A/B/C)	3視点 必要性 有効性 効率性	所管判定		方向性の内容	
成果の方向性	コストの方向性							
①-1	学校・地域パートナーシップ事業 ・コミュニティ協議会の開催 ・地域コーディネーター会議の開催 ・放課後子ども教室の実施 ・地域未来塾の実施	【実績】 ・ 【課題】 ・				【成果の方向性】 ・ 【コストの方向性】 ・	教育部 生涯学習課	
①-2	学童保育運営事業 ・保育ニーズに合わせ、小学校の余裕教室等を活用した入所定員枠の拡充 ・令和4年度以降の指定管理者の選定	【実績】 ・ 【課題】 ・				【成果の方向性】 ・ 【コストの方向性】 ・	教育部 こども課	
①-3	学童保育所施設維持管理事業 ・各学童保育所の修繕	【実績】 ・ 【課題】 ・				【成果の方向性】 ・ 【コストの方向性】 ・	教育部 教育総務課	
②-1	青少年体験交流事業 ・子どもフェスティバルの開催 ・青少年指導員協議会体験学習の実施	【実績】 ・ 【課題】 ・				【成果の方向性】 ・ 【コストの方向性】 ・	教育部 生涯学習課	
②-2	青少年健全育成事業 ・青少年健全育成協議会総会、専門委員会、合同研修会の開催 ・定例・祭礼・夜間特別巡視、県・県警合同立入調査の実施 ・「少年の主張」作文コンクール、市民集会の実施 ・環境浄化(美化奉仕)活動の実施	【実績】 ・ 【課題】 ・				【成果の方向性】 ・ 【コストの方向性】 ・	教育部 生涯学習課	



■ 施策の方向性(改善策)

次年度の方向性	
---------	--

担当課評価	
A	事業
B	事業
C	事業

成果の方向性		コストの方向性	
拡充	事業	拡大	事業
現状維持	事業	現状維持	事業
縮小	事業	縮小	事業
休廃止	事業	休廃止	事業

政策名	2 健康で自分らしく過ごせる毎日のために。(健康・福祉)
施策名	6 地域福祉の推進

★ 目指す姿

多様な主体による地域福祉活動が活発に取り組まれており、地域で互いに支え合いながら安心して暮らすことができる。



SDGs該当分野



■ 施策の主な取り組み

① 総合的な福祉サービスの提供

市民が必要な情報を取得することができ、また安心して福祉サービスを利用することができるように香芝市総合福祉センターを福祉サービスの総合的な拠点として維持・運営します。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①-1	総合福祉センター管理運営事業	総合福祉センター施設の維持管理、貸室(全8室)の利活用の促進、かしば・屯鶴峯温泉の運営を行います。	●

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
総合福祉センター貸室の利用率	%	年間稼働稼数/年間利用可能稼数	50	55	60	65
総合福祉センターサービス提供満足度	%	施設に関するアンケートで「満足」と回答した人数/全回答者数(センター来訪者対象)	-	70	80	90

前年度実績値 (R2)	目標値	今年度の進捗			目標達成度 (当該年度比)	目標達成度 (R6年度比)	担当所管
		中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	実績値 (年度末)			
30	-						福祉部 社会福祉課
-	-						福祉部 社会福祉課

総合福祉センター中規模修繕工事により閉館

② 地域で支え合う仕組みづくり

地域住民の交流を促進するとともに、地域福祉を担う団体等を支援することで、地域の多様な主体により生活課題・福祉課題を解決するための支援が包括的に提供される仕組みづくりを進めます。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②-1	地域福祉推進事業	市内各地域にふれあいいきいきサロン等の活動組織を設置します。また、ボランティア活動の推進及び民生委員・児童委員や保護司等の支援を行い、各関係団体、組織間の連携を図ります。	●

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
地域福祉計画目標達成率	%	各事業の評価指数の合計/各事業の評価指数の最大値の合計	70	80	85	90
小地域福祉活動実施地域	%	地域福祉推進委員会又はふれあいいきいきサロンが設置されている地域数(累計)/設置対象地域数(全47地域)	68.0	78.7	89.3	100.0

前年度実績値 (R2)	目標値	今年度の進捗			目標達成度 (当該年度比)	目標達成度 (R6年度比)	担当所管
		中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	実績値 (年度末)			
78	80						福祉部 社会福祉課
70	72						福祉部 社会福祉課

■ 実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価			今後の方向性		担当所管
		実績と課題	担当課 評価 (A/B/C)	3視点 必要性 有効性 効率性	所管判定 成果の方向性 コストの方向性	方向性の内容	
①-1	総合福祉センター管理運営事業						【実績】 ・ 【課題】 ・
※中規模修繕工事のため、屯鶴峯温泉および貸室等の利用休止 ・中規模修繕工事に含まれていない設備不良箇所の改修 ・中規模修繕工事監理及び来場者の安全確保							
②-1	地域福祉推進事業	【実績】 ・ 【課題】 ・				【成果の方向性】 ・ 【コストの方向性】 ・	福祉部 社会福祉課
・社会福祉協議会や各種ボランティア団体との連携による各種イベントの実施(ふれあいフェスタ、ボランティアフェスタ等) ・研修会を通じた周知啓発							



■ 施策の方向性(改善策)

次年度の方向性	・ ・
---------	--------

担当課評価		成果の方向性		コストの方向性	
A	事業	拡充	事業	拡大	事業
B	事業	現状維持	事業	現状維持	事業
C	事業	縮小	事業	縮小	事業
		休廃止	事業	休廃止	事業

政策名	2 健康で自分らしく過ごせる毎日のために。(健康・福祉)
施策名	7 医療提供体制の充実

★ 目指す姿

すべての世代が、かかりつけ医を持ち、適切な時期に適正な医療を受診することができる。



SDGs該当分野



■ 施策の主な取り組み

① 地域医療体制の充実

市民が必要な時に適切な医療を受けることができるよう、在宅医療の推進、救急医療体制の確保、市医師会・県・近隣市町村等との連携強化を進めます。また、市民への周知・啓発を図ります。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①-1	夜間休日応急体制充実事業	葛城地区3市1町と病院で連携し、休日・夜間の診療所運営や二次救急輪番体制実施します。また、救急医療の仕組みやかかりつけ医等に関する啓発活動を行います。	●

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
二次救急の応需率	%	受け入れた件数/受け入れ要請件数	76.0	80	82	84
子ども救急電話相談(#8000)の認知度	%	4か月児健診時のアンケート(健やか親子21奈良県統一アンケート)で「知っている」と回答した人数/全回答者数	93.4	95	95	95

前年度実績値 (R2)	今年度の進捗				担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	
72.4	77			コロナ禍の影響による	健康部 保健センター
88.7	93.5				健康部 保健センター

② 感染症対策の推進

感染症の拡大防止と重症化予防のため、各種予防接種の受診の徹底を図ります。また、奈良県や医師会・保健所等の関係機関と連携して新型コロナウィルスを含んだ未知の感染症対策に取り組むとともに、市民に対して社会情勢や環境変化を捉えた啓発を実施します。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②-1	予防接種事業	「予防接種法」に基づく定期予防接種(一部、公費負担あり)の実施、未接種者に対する勧奨を行う。また平時から、広報紙等を活用した感染症に関する注意喚起を行います。	●
②-2	感染拡大対策事業	市医師会、北葛城地区医師会(香芝市・葛城市・広陵町・上牧町・王寺町・河合町)との連携会議を開催し、有事の際の対応について情報共有するとともに、その体制を整えます。	●

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
MR(麻疹風疹)の接種率	%	各接種者数/MR1期(1歳児)、MR2期(年長児)接種対象者数	92.5	93	95	97
高齢者インフルエンザ予防接種の接種率	%	65歳以上のインフルエンザ予防接種の接種者数/65歳以上の人口	52.2	55	57	59

前年度実績値 (R2)	今年度の進捗				担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	
96.8	97				健康部 保健センター
77.5	60			R2年度のみ無料実施	健康部 保健センター

■ 実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価			今後の方向性		担当所管
		実績と課題	担当課 評価 (A/B/C)	3視点 必要性 有効性 効率性	所管判定		
方向性の内容							
①-1	夜間休日応急体制充実事業	【実績】 ・「葛城地区病院群輪番制運営協議会」の運営により救急医療の体制を整え、広報等により周知啓発を図る。 【課題】 ・保健事業等に係る香芝市医師会連携会議を開催(概ね年3回)し、医師会との連携および情報共有を図る。			【成果の方向性】 ・ 【コストの方向性】 ・	健康部 保健センター	
②-1	予防接種事業	【実績】 ・定期予防接種の接種勧奨と確認を行い、接種率の向上を図る。 ・医師会と連携のもと新型コロナワクチン接種を迅速に実施する。			【成果の方向性】 ・ 【コストの方向性】 ・	健康部 保健センター	
②-2	感染拡大対策事業	【実績】 ・感染症の流行状態を把握し、適正に情報提供を行う。 ・PCR検査が安全に迅速に実施出来るよう、医療機関や検査センターの運営をサポートする。			【成果の方向性】 ・ 【コストの方向性】 ・	健康部 保健センター	

■ 施策の方向性(改善策)

次年度の方向性	
---------	--

担当課評価	成果の方向性		コストの方向性	
	拡充	事業	拡大	事業
A	事業	現状維持	事業	事業
B	事業	現状維持	事業	事業
C	事業	縮小	縮小	事業
	休廃止	事業	休廃止	事業

政策名	2 健康で自分らしく過ごせる毎日のために。(健康・福祉)
施策名	8 健康づくりの推進

★ 目指す姿

健康に関する正しい知識を得て、自らの健康を意識し積極的に健康づくりに取り組んでいる。



SDGs該当分野



■ 施策の主な取り組み

① 健康的な生活習慣の推進

病気の予防、早期発見・早期治療に取り組む等、市民一人ひとりが「自らの健康は自らで守る」という意識を持ち、主体的に健康づくりを進めるために、各種健(検)診・教室・相談・啓発活動の充実を図ります。

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
5大がん検診受診者数	人	5大がん検診の受診者数	6,034	6,200	6,400	6,600
特定健康診査受診率	%	特定健康診査実施者/特定健康診査対象者	34.2	60	60	60

前年度実績値 (R2)	目標値	今年度の進捗			担当所管
		中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	
4,460	6,000			コロナ禍の影響による検診回数の減	健康部 保健センター
32.4	54				健康部 国保医療課

② 心の健康づくりの推進

生きづらさを感じているかたが、心の健康相談や臨床心理士によるカウンセリング、発達相談を受けることができる環境を整え、自殺予防対策やメンタルヘルズ支援を行い、精神的に安定した生活ができるよう支援します。

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
自殺死亡率の減少	—	人口10万人当たりの自殺者数(暦年単位)	13.4	11.4	10.2	9.0
子ども・若者相談支援件数	件	相談件数	49	60	70	80

前年度実績値 (R2)	目標値	今年度の進捗			担当所管
		中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	
12.1	12				健康部 保健センター
36	50				福祉部 児童福祉課

③ 望ましい食生活の定着推進

食生活と栄養についての知識の普及を進め、健全な食生活を実践できる習慣を身に付けることができるようにします。また、学校給食への地元食材の使用、料理教室等の開催を通じて、子どものころから「食」について考える環境づくりを進めます。

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
食に関する教室の参加率	%	参加者数/離乳食・食生活・料理講習会等の定員総数	57	65	70	75
食事バランスが取れている人の割合	%	食育調査で「1日2回以上食事をとり、主食+主菜+副菜を食べる」と回答した人数/全回答者数(20歳以上の市民の方対象)	41.4	55	60	70

前年度実績値 (R2)	目標値	今年度の進捗			担当所管
		中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	
49	57				健康部 保健センター
41.4	55			健康かしば21の計画期間に合わせてアンケート実施(R3年度とR8年度に実施予定)	健康部 保健センター

■ 実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価			今後の方向性		担当所管
		実績と課題	担当課 評価 (A/B/C)	3視点 成果の方向性 必要性 有効性 効率性	所管判定	方向性の内容	
①-1	がん検診事業						【実績】 胃、肺、乳、子宮、大腸がん検診、肝炎ウイルス検診、生活習慣病健康診査等を実施する。 乳がん子宮がん検診のクーポンを発行し、受診勧奨を行う。 【課題】 精密検査未受診者を追跡し、受診勧奨を行う。 委託医療機関と共に精度管理を行う。
①-2	健康づくりに関する教育事業	【実績】 健康かしば21アンケートを実施、分析し計画を策定する。 健康づくり推進会議及び歯科保健推進会議を実施する。 地区組織活動支援事業(ボランティア活動支援及び養成)を実施する。 【課題】 ・				【成果の方向性】 ・ 【コストの方向性】 ・	健康部 保健センター
①-3	医療費適正化事業	【実績】 特定健康診査受診率向上対策(受診料金無料化、過去の受診状況に応じた動員案内通知の実施) 特定健康診査受診者への脳ドック費用助成(定員500人へ増員) 特定保健指導の実施(休日指導の実施) 【課題】 ・				【成果の方向性】 ・ 【コストの方向性】 ・	健康部 国保医療課
②-1	精神保健事業	【実績】 香芝市自殺対策計画の進捗管理 自殺対策連携会議、ゲートキーパー養成講座、心の健康講演会、ほっと一むやほっとパーク(びあ)の開催 臨床心理事業(心の健康相談室でのカウンセリング・心理検査、発達相談等)の実施 【課題】 ・				【成果の方向性】 ・ 【コストの方向性】 ・	健康部 保健センター
②-2	子ども・若者相談支援事業	【実績】 生きづらさを感じているひきこもりやニートなど(15歳から概ね39歳)のかたに対する閉じこもり等の相談に応じる。 生活困窮支援担当課と相談者の支援検討を行う。 【課題】 義務教育が終了する中学3年生及び障害支援員等に対して、事業のチラシを配布し周知啓発する。 毎月広報紙に掲載し広く市民に周知する。				【成果の方向性】 ・ 【コストの方向性】 ・	福祉部 児童福祉課
③-1	食育推進事業	【実績】 離乳食教室や乳幼児栄養相談を行い、育児不安の軽減を図る。 食育推進会議を実施。関係機関と連携し、正しい食行動が出来るよう支援する。 健康状態にあった量や内容を把握し、生活習慣病の予防が出来るよう支援する。 【課題】 ・				【成果の方向性】 ・ 【コストの方向性】 ・	健康部 保健センター



■ 施策の方向性(改善策)

次年度の方向性	
---------	--

担当課評価	
A	事業
B	事業
C	事業

成果の方向性		コストの方向性	
拡充	事業	拡大	事業
現状維持	事業	現状維持	事業
縮小	事業	縮小	事業
休廃止	事業	休廃止	事業

政策名	2 健康で自分らしく過ごせる毎日のために。(健康・福祉)
施策名	9 高齢者福祉の充実

★ 目指す姿

地域全体での支え合いの意識が浸透し、高齢者が住み慣れた地域で生きがいを持ち、安心して生活できている。



SDGs該当分野



■ 施策の主な取り組み

① 自立支援・介護予防・重度化防止の推進

高齢者が生き生きと自立した生活が送れるよう、地域のニーズや課題、活用できる社会資源を把握し、自立支援・介護予防・重度化防止に向けた各種サービスを展開します。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①-1	介護予防・日常生活支援総合事業	掃除や買い物等の日常生活支援、運動教室や栄養・口腔機能指導等の介護予防サービス等に加え、地域における通いの場の創出、介護予防に関するボランティアの育成等の助け合い支え合いの仕組みづくりを推進します。また、事業所等の専門職が行うサービスに加え、地域住民や企業等の多様な主体によるサービスも提供できるよう展開していきます。	●

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初	目標値		
			(R1)	R6	R10	R14
地域活動による『通いの場』の設置割合	%	「いきいき百歳体操」が行われた地域数/設置対象地域数(全50地域)	30.0	84.0	94.0	100.0

前年度実績値 (R2)	今年度の進捗				担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	
38.0	50				健康部 介護福祉課

② 日常生活を支援する体制の整備

地域包括支援センターの機能を強化するとともに、地域住民や事業者等の協力も得ながら、高齢者の安全で安心な日常生活が包括的に確保される「地域包括ケアシステム」の強化を進め、介護等が必要になっても住み慣れた地域で過ごすことができる仕組みづくりを推進します。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②-1	高齢者のための支援体制整備事業	高齢者の総合相談窓口である地域包括支援センターの機能強化を図ります。介護を必要とする人の家族に対する支援、また、医療・介護サービス事業者等との連携強化等を行い、包括的に支援できる体制を充実させます。認知症の方に対する支援、高齢者の権利擁護及び虐待防止対策等高齢者の安全・安心につながる支援を行います。	●
②-2	介護予防支援事業	地域包括支援センターで、要支援者等の認定を持つ方が、必要な介護サービス等を受けられるよう支援します。	●
②-3	生きがい対策事業	敬老会の開催等、高齢者の社会参加を促進し、生きがいのある暮らしの支援を行います。	●

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初	目標値		
			(R1)	R6	R10	R14
地域で孤立せず生活できている高齢者の割合	%	介護保険意向調査で「心配事や愚痴を聞いてくれる人が1人以上いる」と回答した人数/全回答者数(65歳以上の市民の方対象)	89.1	89.5	90	90.5
認知症サポーター養成人数	人	認知症サポーター養成講座に参加した人数(平成22年度からの累計)	3,843	4,800	5,600	6,400

前年度実績値 (R2)	今年度の進捗				担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	
-	-				健康部 介護福祉課
3,959	4,200				健康部 介護福祉課

③ 介護保険給付の適正化

介護給付費の適正給付に取り組み、介護保険制度の財政的な健全性を確保し、安定的な運営を図ります。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
③-1	介護保険給付適正化事業	給付の現状分析、ケアプラン点検及び介護サービス事業所に対する実地指導を行います。	-

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初	目標値		
			(R1)	R6	R10	R14
居宅サービス費(1人当たりの給付額)	円/月	居宅サービスに係る給付費を利用者数で除した金額	104,141	110,000	110,000	110,000

前年度実績値 (R2)	今年度の進捗				担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	
102,863	110,000				健康部 介護福祉課

■ 実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価			今後の方向性			担当所管
		実績と課題	担当課評価 (A/B/C)	3視点 必要性 有効性 効率性	所管判定		方向性の内容	
成果の方向性	コストの方向性							
①-1	介護予防・日常生活支援総合事業	【実績】 ・介護予防・生活支援サービスの訪問型サービス実施(家事支援、運動指導等)及び、通所型サービスの実施(生活機能改善のための運動機能向上等) ・地域における通いの場「いきいき百歳体操」の継続支援及び実施地域の増加のため、体験説明会を6回以上開催し、9月に研修会を実施する。				【成果の方向性】 ・ 【コストの方向性】 ・	健康部 介護福祉課	
②-1	高齢者のための支援体制整備事業	【実績】 ・高齢者の権利擁護及び虐待防止対策等高齢者の安全・安心につながる支援を行うため、11月に研修会等を実施し、広く市民に啓発する。 ・認知症になっても住み慣れた地域で生活していけるよう、認知症についての理解を深めるため、認知症サポーター養成講座を実施する。(年間200人)				【成果の方向性】 ・ 【コストの方向性】 ・	健康部 介護福祉課	
②-2	介護予防支援事業	【実績】 ・介護予防支援にかかるケアマネジメント(利用者宅訪問、アセスメント、サービス計画原案作成、モニタリング)を適正に実施できよう、介護支援専門員の支援を行う。 ・自立支援型地域ケア会議を実施し、要支援者の自立の支援を継続して行っていけるよう支援する。				【成果の方向性】 ・ 【コストの方向性】 ・	健康部 介護福祉課	
②-3	生きがい対策事業	【実績】 ・ふたかみクラブ連合会が行う健康づくり・介護予防支援事業を支援する。 ・敬老会、高齢者美術展を実施する。				【成果の方向性】 ・ 【コストの方向性】 ・	健康部 介護福祉課	
③-1	介護保険給付適正化事業	【実績】 ・給付費の適正化を目的とし、ケアプラン点検(600件)及び実地指導を行う。 ・トリートメントや国保連合会のデータを使用し、効率的に適正化事業を実施する。				【成果の方向性】 ・ 【コストの方向性】 ・	健康部 介護福祉課	

■ 施策の方向性(改善策)

次年度の方向性	
---------	--

担当課評価	成果の方向性		コストの方向性	
	A 事業	拡充	事業	拡大
B 事業	現状維持	事業	現状維持	事業
C 事業	縮小	事業	縮小	事業
	休廃止	事業	休廃止	事業

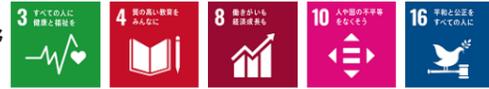
政策名	2 健康で自分らしく過ごせる毎日のために。(健康・福祉)
施策名	10 障がい者福祉の充実

★ 目指す姿

障がい者がその有する能力及び適性に応じ、自立した生活を営み、自分らしく生き生きと安心して暮らすことができる。



SDGs該当分野



■ 施策の主な取り組み

① 障がい者が地域で安心して暮らせる仕組みづくり

障がい者が安全・安心な環境のもと、自立した生活ができるよう、基盤整備を進めるとともに、障がい者の日常生活及び社会生活におけるニーズに対応した細やかなサービスを展開します。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①-1	地域生活支援事業	総合的な相談支援をはじめ、日常生活用具の給付や入浴、移動等日常生活における支援や意思疎通支援者の派遣等によるコミュニケーションや情報取得に関する支援を行います。また、障がい者の社会参加に対する支援や職業訓練に要する費用の助成を行うなど、障がい者の地域における日常生活や社会生活のニーズに対応した福祉サービスの提供を行います。	●

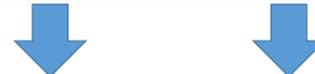
◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
意思疎通支援事業の登録者数	人	香芝市意思疎通支援者名簿(手話通訳・要約筆記)に登録されている人数(累計)	33	35	37	40
手話奉仕員の養成人数	人	手話奉仕員養成講座を受講した延べ人数(平成14年度からの延べ人数)	500	550	600	650
障がい者の職場体験受け入れ人数	人	市が職場体験として受け入れた人数	4	8	12	16
優先調達金額	千円	障がい者就労施設等からの物品等の調達金額	498	600	700	800

前年度実績値 (R2)	目標値	今年度の進捗			担当所管
		中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	
33	35				福祉部 社会福祉課
518	530				福祉部 社会福祉課
3	4				福祉部 社会福祉課
695	700				福祉部 社会福祉課

■ 実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価			今後の方向性		担当所管
		実績と課題	担当課 評価 (A/B/C)	3視点	所管判定	方向性の内容	
①-1	地域生活支援事業			【実績】 ・障がい者(児)の日常生活支援(移動支援事業、日中一時支援事業、日常生活用具給付事業、意思疎通支援事業、福祉ホーム助成事業) ・障がい者の社会参加促進(手話奉仕員及び聞こえのサポーター養成事業、障がい者(児)ふれあいの集い事業) ・精神障害者医療費助成(精神障害者保健福祉手帳1、2級所持者に対する医療費助成)			必要性 有効性 効率性



■ 施策の方向性(改善策)

次年度の方向性	
---------	--

担当課評価	成果の方向性		コストの方向性	
	A 事業	拡充	事業	拡大
B 事業	現状維持	事業	現状維持	事業
C 事業	縮小	事業	縮小	事業
	休廃止	事業	休廃止	事業

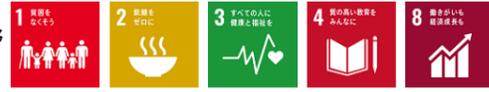
政策名	2 健康で自分らしく過ごせる毎日のために。(健康・福祉)
施策名	11 生活困窮者支援の充実

★ 目指す姿

生活困窮者が各自の能力を活かしながら、経済的・精神的に自立できる社会



SDGs該当分野



■ 施策の主な取り組み

① 生活困窮者への相談支援・就労支援の充実

生活困窮者を自立へとつなげていくために、包括的・継続的な助言・支援を受けることができる相談体制の充実を図るとともに、制度の周知を進めます。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①-1	自立支援促進事業	生活困窮者が自立した生活を営むことができるよう、助言・支援を行うほか、個別支援プログラムの作成やハローワークとの連携等により就労支援を行います。	●

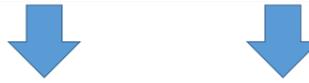
◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
支援プラン策定により就労につながった割合	%	就労につながった件数/一般就労を目標とした支援プランの策定件数	75	80	85	90

前年度実績値 (R2)	今年度の進捗				担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	
69	77				福祉部 生活支援課

■ 実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価			今後の方向性		担当所管
		実績と課題	担当課 評価 (A/B/C)	3視点 必要性 有効性 効率性	所管判定		
今年度の事業実施計画					方向性の内容		
①-1	自立支援促進事業	【実績】 ・相談窓口の開設 ・生活困窮者の就労支援 ・生活保護受給者の就労支援 ・生活困窮者に対する住居確保給付金の支給			【成果の方向性】 ・ 【コストの方向性】 ・	福祉部 生活支援課	



■ 施策の方向性(改善策)

次年度の方向性	・ ・
---------	--------

担当課評価	
A	事業
B	事業
C	事業

成果の方向性		コストの方向性	
拡充	事業	拡大	事業
現状維持	事業	現状維持	事業
縮小	事業	縮小	事業
休廃止	事業	休廃止	事業

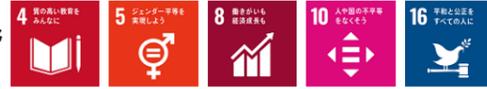
政策名	3 誰もが等しく、生涯輝き続けるために。(人権・協働・文化)
施策名	12 人権・多様性の尊重

★ 目指す姿

誰もが個人として等しく尊重され、自らの意思によって個性と能力を発揮できる社会が実現している。



SDGs該当分野



■ 施策の主な取り組み

① 人権啓発の推進と学習機会の提供

人権に関する啓発活動や学習機会の提供を通じて、市民の人権への理解や認識の向上を図ります。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①-1	人権啓発事業	香芝市人権教育推進協議会や各種団体と連携し、広報活動やセミナー等を開催し、市民へ人権に関する正しい知識や情報を提供します。	—

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
市民集会参加者数	人	「人権を考える香芝市民集会」の参加者数	150	180	220	250
人権啓発事業認知度	%	人権に関する市民アンケートで「市が実施する人権啓発事業を知っている」と回答した人数/全回答者数(事業参加者対象)	64	70	80	90

前年度実績値 (R2)	目標値	今年度の進捗			目標達成度 (当該年度比)	目標達成度 (R6年度比)	担当所管
		中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	実績値 (年度末)			
0	150					地域振興局 市民協働課	
51.5	65					地域振興局 市民協働課	

② 男女共同参画によるまちづくりの推進

男女共同参画に関する啓発活動や学習機会の提供を通じて、市民の男女共同参画意識のさらなる醸成・高揚を図ります。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②-1	男女共同参画推進事業	男女共同参画社会への理解を深めるため、父子を対象とした体験型の講習会の実施や市民を対象とした学習会等を開催します。また、関係機関と連携し、女性の就労支援に係るセミナーの実施や相談窓口を開設します。多様な視点を政策方針に取り入れるため、市の審議会への女性登用を促します。	●

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
市職員の管理職に占める女性割合	%	市職員の女性管理職数/市職員の管理職数	29.7	30	30	30
市の審議会への女性委員登用率	%	審議会等における女性委員数/審議会等における委員数	26.4	30	30	30

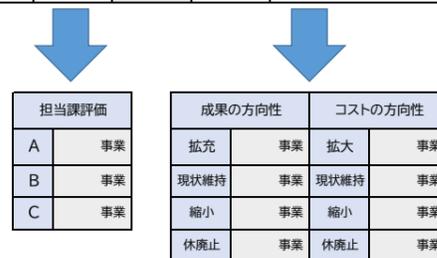
前年度実績値 (R2)	目標値	今年度の進捗			目標達成度 (当該年度比)	目標達成度 (R6年度比)	担当所管
		中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	実績値 (年度末)			
30.3	30					地域振興局 市民協働課	
25.9	30					地域振興局 市民協働課	

■ 実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価			今後の方向性		担当所管
		実績と課題	担当課 評価 (A/B/C)	3視点 必要性 有効性 効率性	所管判定		
方向性の内容					成果の方向性	コストの方向性	
①-1	人権啓発事業	【実績】 ・「くらしを考える講座」を年6回開催する。(6月:オンライン開催、7月10日(土)、8月21日(土)中止予定、10月23日(土)、12月4日(土)、2月5日(土)) ※アンケートは講座ごとに実施 ・市民集会を開催する。 ・人権啓発パネル展を実施する。(7月、12月予定)				【成果の方向性】 ・【コストの方向性】	地域振興局 市民協働課
②-1	男女共同参画推進事業	【実績】 ・「男性いきいきセミナー」を開催する。(家事・育児をテーマとした父子参加型セミナー、11月・3月予定) ・女性の就労支援に係るセミナーを実施する。(9月・2月予定) ・第3次男女共同参画プランを策定する。(R3年5月アンケート調査、7月委員会諮問、12月計画案作成、1月パブリックコメント、R3年度中の策定を予定)				【成果の方向性】 ・【コストの方向性】	地域振興局 市民協働課

■ 施策の方向性(改善策)

次年度の方向性	
---------	--



政策名	3 誰もが等しく、生涯輝き続けるために。(人権・協働・文化)
施策名	13 地域コミュニティの醸成・活性化

★ 目指す姿

市民一人ひとりが「まちの担い手は自分自身」という自治意識を持ち、市民みんなが地域に誇りと愛着を持っている。



SDGs該当分野



■ 施策の主な取り組み

① 自治会活動の支援

円滑な自治振興の実現のため、地域コミュニティの核である自治会の安定的な運営を支援します。また、自治会の協力のもと、地域の安全安心に関わる設備等の設置を促進します。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①-1	自治会活動支援事業	自治会活動や防犯カメラ・防犯灯等の設備の整備に対して、補助金の交付等の支援を行います。また、自治会及び自治連合会と連携し、自治会未加入者への加入促進を図るとともに、自治会と各種地域団体の連携を促進し、地域活動の活性化を図ります。	●

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
自治会加入率	%	自治会加入世帯数/4月1日時点の世帯数	87.2	88	90	92
自治連合会と地域団体との協働事業実施回数	回	自治連合会と地域団体との協働事業実施回数	0	1	2	3

前年度実績値 (R2)	今年度の進捗 目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	目標達成度 (R6年度比)	担当所管
86.1	86.1					地域振興局 市民協働課
0	0					地域振興局 市民協働課

② 市民公益活動団体の支援

ボランティアやNPO等の市民公益活動団体の地域での活動を支援することで、地域の活性化を促進します。また、市民公益活動団体同士が繋がり、発展できるように、コーディネーターの役割を担います。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②-1	市民公益活動団体支援事業	市民公益活動団体の活動に対して、補助金の交付等の支援を行います。また、活動報告会や市民主体のイベントを実施することで、団体同士のつながりや市民や市内事業者等、あらゆる主体との相互交流の機会を設け、市民活動のさらなる活性化を図ります。	●

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
まちづくり提案活動支援事業補助金申請件数	件	まちづくり提案活動支援事業補助金の申請件数	19	25	25	30

前年度実績値 (R2)	今年度の進捗 目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	目標達成度 (R6年度比)	担当所管
10	10					地域振興局 市民協働課

■ 実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価			今後の方向性		担当所管
		実績と課題	担当課 評価 (A/B/C)	3視点 必要性 有効性 効率性	所管判定 成果の方向性 コストの方向性	方向性の内容	
①-1	自治会活動支援事業						【実績】 ・転入者に自治会加入促進のパンフレットを配布する。 ・自治会活動及び自治会が設置する防犯灯・防犯カメラ・放送設備・集会所への補助を行う。 ・自治連合会と地域団体の協働事業の実施方法に関する調査・検討を行う。 ・自治連合会の運営支援を行う。 【課題】 ・
②-1	市民公益活動団体支援事業	【実績】 ・まちづくり提案活動支援事業補助金事業を実施する。 一次募集 募集期間 4月14日(水)～5月14日(金) ヒアリング審査 5月30日(日) 追加募集 募集期間 7月20日(火)～8月20日(金) ヒアリング審査 9月18日(土) ・前年度採択団体の成果報告会を実施する。 ・補助金申請の説明会を実施する。 ・スキルアップセミナーを開催する。 【課題】 ・				【成果の方向性】 ・ 【コストの方向性】 ・	地域振興局 市民協働課



■ 施策の方向性(改善策)

次年度の方向性	・
---------	---

担当課評価	成果の方向性		コストの方向性	
	拡充	事業	拡大	事業
A	事業	事業	事業	事業
B	事業	現状維持	現状維持	事業
C	事業	縮小	縮小	事業
	休廃止	事業	休廃止	事業

政策名	3 誰もが等しく、生涯輝き続けるために。(人権・協働・文化)
施策名	14 文化芸術の振興・多文化共生

★ 目指す姿

多種多様な文化活動が活発に行われ、さまざまな文化が共生する、個性豊かなまちが形成されている。



SDGs該当分野



■ 施策の主な取り組み

① 文化の発信・創造・交流の支援

多くの市民がさまざまな文化に触れ、多様な見識や価値観を養うことのできる機会を創出します。また、市民の自主的・創造的な文化活動を支援し、文化振興につなげます。

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
ふたかみ文化センター稼働率	%	年間稼働枠数/年間利用可能枠数	44.2	45	48	50
ふたかみ文化センター利用者数	人	ふたかみ文化センターの利用者数	89,790	97,000	105,000	108,000
地域交流センター稼働率	%	年間稼働枠数/年間利用可能枠数	23.6	25	30	35
地域交流センター利用者数	人	地域交流センターの利用者数	48,620	55,000	66,000	77,000

前年度実績値 (R2)	目標値	今年度の進捗			担当所管
		中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	
34.8	35.0				地域振興局 市民協働課
33,859	55,000				地域振興局 市民協働課
17.6	18.0				地域振興局 市民協働課
22,657	23,000				地域振興局 市民協働課

コロナ禍の影響による施設利用制限を考慮

② 多文化理解と国際交流の推進

国際理解を通じて、さまざまな文化の在り方や考え方、価値観、感じ方の違いを認め合える風土を醸成します。

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
国際交流事業実施回数	回	国際交流事業の実施回数	2	3	4	4

前年度実績値 (R2)	目標値	今年度の進捗			担当所管
		中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	
1	3				地域振興局 市民協働課

■ 実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価			今後の方向性		担当所管
		実績と課題	担当課 評価 (A/B/C)	3視点 必要性 有効性 効率性	所管判定		
【実績】	【課題】				【成果の方向性】	【コストの方向性】	
①-1	文化施設管理・運営事業	・指定管理者による施設の運営、維持管理を行う。 (指定管理者:香芝みらい創造プロジェクト(令和2年度~6年度)) ・施設の利用促進を図る。 (指定管理者自主事業として、コンサートや講演会、講座など年間14回程度開催のほか、カルチャースクールを通年実施する。)				【成果の方向性】 ・ 【コストの方向性】 ・	地域振興局 市民協働課
①-2	地域交流センター管理・運営事業	・指定管理者による施設の運営、維持管理を行う。 (指定管理者:白鳳白自治会(令和2年度~4年度)) ・施設の利用促進を図る。 (指定管理者自主事業として、なごみカフェ(1回/2か月)、いきいき百歳体操等を実施予定)				【成果の方向性】 ・ 【コストの方向性】 ・	地域振興局 市民協働課
②-1	文化・国際交流活動事業	・外国人市民へのアンケート調査を実施する。(8月3日発送、8月20日〆切) ・異文化を学ぶ国際交流セミナーの開催(8月動画配信、12月11日(土)、3月5日(土))				【成果の方向性】 ・ 【コストの方向性】 ・	地域振興局 市民協働課



■ 施策の方向性(改善策)

次年度の方向性	
---------	--

担当課評価	
A	事業
B	事業
C	事業

成果の方向性		コストの方向性	
拡充	事業	拡大	事業
現状維持	事業	現状維持	事業
縮小	事業	縮小	事業
休廃止	事業	休廃止	事業

政策名	3 誰もが等しく、生涯輝き続けるために。(人権・協働・文化)
施策名	15 生涯学習とスポーツ活動の充実

★ 目指す姿

いつでも、どこでも、誰でも、楽しく生涯学習やスポーツに取り組むことができる環境が整っている。



SDGs該当分野



■ 施策の主な取り組み

① 生涯学習機会の充実

「いつでも、どこでも、誰でも」学べる生涯学習社会の実現に向けて、多様な講座を開催するなど学習できる機会と場の充実を図るとともに、成果を生かせる場づくりを行います。併せて生涯学習関係団体の育成・交流を促進します。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①-1	生涯学習機会提供事業	美術展覧会、生涯学習講演会等の各種講座を開催します。また、生涯学習関係団体の育成・交流の環境づくりを行います。	●

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
中央公民館利用率	%	年間稼働枠数/年間利用可能枠数	32.2	35	35	35
中央公民館利用者数	人	中央公民館の利用者数	69,098	70,000	72,000	74,000

前年度実績値 (R2)	今年度の進捗			目標達成度 (当該年度比)	目標達成度 (R6年度比)	担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)			
27	35					教育部 生涯学習課
29,169	40,000					教育部 生涯学習課

② スポーツ活動の充実

地域のスポーツ・レクリエーション関係団体等の多様な主体と協働し、スポーツできる機会と場の充実を図るとともに、総合体育館、健民グラウンド等のスポーツ施設の利用を促進します。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②-1	スポーツ活動支援事業	さまざまなスポーツ・レクリエーション教室、イベント等を通年、開催します。また、研修会等の開催によりスポーツ・レクリエーション関係団体の育成を支援します。	●

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
社会体育施設利用率	%	年間稼働枠数/年間利用可能枠数	48.7	51	51	51
社会体育施設利用者数	人	社会体育施設の利用者数	181,146	220,000	230,000	240,000

前年度実績値 (R2)	今年度の進捗			目標達成度 (当該年度比)	目標達成度 (R6年度比)	担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)			
40.7	49					教育部 生涯学習課
94,322	190,000					教育部 生涯学習課

③ 図書館機能の充実

市民が幅広い知識や情報を得て、心豊かでいきいきとした人生を送るため、図書館資料や情報の提供だけでなく、学習や活動の場の提供等も行いながら、読書の普及啓発と図書館の利用促進を図り、地域の拠点となる図書館づくりを進めます。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
③-1	資料情報提供事業	図書・視聴覚資料等の資料や情報を収集・保存し、提供します。また、図書館の利用が困難な方等には、読書サポート等のサービスの充実を図るとともに、電子書籍の充実や移動図書館車「ぶっくる号」の巡回等により、利用環境の整備を推進します。	●
③-2	読書普及活動事業	図書館ではおはなし会や読み聞かせ会等を開催するほか、学校・幼稚園・保育所等を訪問し、ブックトークやおはなし会等を行います。また、各種講座、さまざまな展示イベントを開催します。	●

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
蔵書回転率	回	年間貸出冊数/蔵書冊数(蔵書1冊当たりの貸出回数)	1.7	1.8	1.9	2.0
市民図書館来館者数	人	市民図書館の来館者数	-	154,000	159,000	168,000

前年度実績値 (R2)	今年度の進捗			目標達成度 (当該年度比)	目標達成度 (R6年度比)	担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)			
1.35	1.4					教育部 市民図書館
-	153,000					教育部 市民図書館

R2年度のカウンタ機器導入により来館者数の算出が可能となったため

年度途中より算出可能  
(9/15~3/31 : 89,905人)

■ 実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価			今後の方向性			担当所管
		実績と課題	担当課 評価 (A/B/C)	3視点 必要性 有効性 効率性	所管判定 成果の方向性 コストの方向性	方向性の内容		
①-1	生涯学習機会提供事業					【実績】 ・市民がつくる生涯学習講座の開催(通年、20回程度) ・美術展覧会の開催(11月頃、年1回) ・家庭教育学級(幼稚園や小学校を拠点として、親同士が学習したいことを自ら企画し、計画的・継続的に活動を行うもの)を実施 ・社会教育学級の開講による生涯学習関係団体の育成、交流の環境づくりの実施 ・社会教育委員会において、社会教育事業への助言、提言、社会教育委員の研修の実施。(社会教育委員会議:年度3回、研修・研究大会:年度3回=県大会、近畿大会、県社会教育学校)		
②-1	スポーツ活動支援事業	【実績】 ・市民に対してスポーツ実技の指導、その他スポーツに関する指導及び助言、スポーツの推進のための事業の実施に係る連絡調整を行うスポーツ推進委員を充実させることで、スポーツの推進を図る。 ・市町村対抗子ども駅伝の開催(毎年1月、年1回) ・子供から高齢者までを対象に「だれでも、いつでも、どこでも、気軽に自由に楽しめる」ニュースポーツを知ってもらうためのイベント「ニュースポーツデー」の開催(10月頃、3月頃開催、年2回)				【成果の方向性】 ・ 【コストの方向性】 ・	教育部 生涯学習課	
③-1	資料情報提供事業	【実績】 ・ニーズを把握した図書や蔵書の更新 ・収集資料の閲覧、貸出、コピー等での提供やレファレンスの実施、来館が困難な方への郵送等による資料提供 ・「かしは電子図書館」の円滑な運営 ・学校等の関係機関との連携による団体貸出、巡回文庫等の実施				【成果の方向性】 ・ 【コストの方向性】 ・	教育部 市民図書館	
③-2	読書普及活動事業	【実績】 ・図書の利用促進のため、テーマ別展示の実施 ・学校等関係機関との連携による見学受入れ、読み聞かせ等の学級訪問の実施 ・ライブリーディングを始め、読書意欲の向上を目指した講座やイベントの開催 ・図書館PRを含めた市や図書館ホームページを活用した広報活動				【成果の方向性】 ・ 【コストの方向性】 ・	教育部 市民図書館	

■ 施策の方向性(改善策)

次年度の方向性	
---------	--

担当課評価	
A	事業
B	事業
C	事業

成果の方向性		コストの方向性	
拡充	事業	拡大	事業
現状維持	事業	現状維持	事業
縮小	事業	縮小	事業
休廃止	事業	休廃止	事業

政策名	3 誰もが等しく、生涯輝き続けるために。(人権・協働・文化)
施策名	16 歴史文化財の保存と継承・展開

★ 目指す姿

気軽に文化財について学習できる環境が整備されており、文化財を通じて、まちに愛着と誇りが持てている。



SDGs該当分野



■ 施策の主な取り組み

① 二上山博物館機能の充実

地域の歴史・文化を学習する拠点として、また情報発信の拠点として、二上山博物館の機能を充実させます。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①-1	博物館活性化事業	文化財等の調査研究を推進し、博物館の展示を充実させるとともに、イベント・講座・展示会等を開催します。また、小学校・中学校と連携した取り組みとして、地元について知る、郷土愛を育てる学習を実施します。	●

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
博物館入館者数	人	二上山博物館の入館者数	7,479	8,000	8,500	9,000
博学連携参加者数	人	博学連携参加者数	719	800	850	900

前年度実績値 (R2)	目標値	今年度の進捗			担当所管
		中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	
4,196	5,500				教育部 生涯学習課
177	200				教育部 生涯学習課

コロナ禍による影響およびR2実績をふまえ、平常時より低く設定

② 文化財の保護・啓発

文化財を後世に保存・継承するために必要な措置を講ずるとともに、文化財の魅力を発信して、活用及び啓発を行います。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②-1	文化財保護啓発事業	市内にある文化財の基礎資料の収集・蓄積、遺跡の保護等を行います。また、歴史講座やイベントの開催により、文化財・遺跡の活用を図り、広く普及、啓発活動を行います。	●

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
指定文化財の件数	件	国・県・市指定文化財の件数(累計)	42	43	44	45
史跡公園利用者数	人	尼寺庵寺跡史跡公園・史跡平野塚六山古墳史跡公園の利用者数	1,585	1,600	1,650	1,700

前年度実績値 (R2)	目標値	今年度の進捗			担当所管
		中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	
44	44				教育部 生涯学習課
1,435	1,500				教育部 生涯学習課

R2で増加した2件:  
狐井城山古墳・狐井稲荷古墳

■ 実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価			今後の方向性		担当所管
		実績と課題	担当課 評価 (A/B/C)	3視点 必要性 有効性 効率性	所管判定		
方向性の内容					成果の方向性	コストの方向性	
①-1	博物館活性化事業	【実績】 ・企画展示(市内文化財を対象としたもの)3回 ・公開講演会5回(指定管理者3回) ・市民の歴史講座10回 ・地域学習講座4回					教育部 生涯学習課
②-1	文化財保護啓発事業	【実績】 ・文化財保護審議会 1回 ・諮問物件調査 1回 ・文化財防火デー(防火訓練) 1回 ・文化財巡視 12回					教育部 生涯学習課

■ 施策の方向性(改善策)

次年度の方向性	
---------	--

担当課評価	
A	事業
B	事業
C	事業

成果の方向性		コストの方向性	
拡充	事業	拡大	事業
現状維持	事業	現状維持	事業
縮小	事業	縮小	事業
休廃止	事業	休廃止	事業

政策名	4 まちの活力と魅力の向上のために。(産業・観光)
施策名	17 商工業の振興

★ 目指す姿

商工業の活性化によって、市内で「住む」だけでなく、「働き、消費する」という好循環が生み出されている。



SDGs該当分野



■ 施策の主な取り組み

① 企業の活性化

市内における企業の経済活動の活性化や経済規模の拡大を支援し、地域経済の好循環を促すことで、雇用機会の創出を図ります。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①-1	企業支援事業	各種補助制度により、市内企業の経営を支援します。また、企業誘致や市内企業の移転・増設等の企業立地を推進します。地域ブランド「KASHIBA+」の認定品の拡充や市内外での認知度の向上のためのプロモーション活動を実施します。	●

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
企業立地件数	件	事業計画を認定した企業数(令和元年度からの累計)	1	6	10	14
各種補助金申請件数	件	市補助金4種(設備投資促進補助金、商品開発・販路開拓等支援事業補助金(～R2産学連携促進補助金)、特許等取得支援補助金、環境配慮型企業定着促進補助金)に対する申請件数(令和元年度からの累計)	7	42	70	98
香芝ブランド認定件数	件	地域ブランド「KASHIBA+」認定件数(令和元年度からの累計)	23	33	43	53

前年度実績値 (R2)	今年度の進捗				担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	
4	7				地域振興局 商工振興課
13	21				地域振興局 商工振興課
24	27				地域振興局 商工振興課

② 創業の促進

市内企業の競争力の強化や新たな産業構造の構築、雇用創出の原動力となる新規企業の創業を支援し、地域経済の活性化を図ります。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②-1	創業促進事業	創業者支援制度や香芝市商工会と連携して実施する創業セミナー等により、市内の創業希望者を育成・支援します。	●

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
市内での創業者数	人	市の各種制度を活用して創業した人数(累計)	11	66	110	154

前年度実績値 (R2)	今年度の進捗				担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	
16	22			コロナ禍による影響を鑑み、下方修正	地域振興局 商工振興課

■ 実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価			今後の方向性		担当所管
		実績と課題	担当課 評価 (A/B/C)	3視点 必要性 有効性 効率性	所管判定	方向性の内容	
①-1	企業支援事業				【実績】 ・各種補助金メニューの積極的な周知によって、中小企業経営支援や企業立地推進、商品開発・販路開拓等支援、特許等取得支援、設備投資促進等を実施する。(設備投資促進補助金は、新型コロナウイルス対応として、今年度のみ補助率を20%に引き上げる。) ・市内中小企業の支援のため、産業展を開催する。(コロナ禍においても継続実施できるよう、実施方法を検討する。) ・地域ブランド「KASHIBA+」の市内外での認知度の向上のため、ドライブスルーイベントでの販売及びプロモーション活動を行う。		
②-1	創業促進事業	【実績】 ・創業促進補助金や創業支援アドバイザー制度等、創業支援施策につき、パンフレットの作成や広報誌への掲載、SNSの活用、商工会等との連携により周知を行う。 ・商工会が主催する香芝みらい塾につき、広報誌の折り込みチラシにより周知を行う。 ・中小企業資金融資制度につき、パンフレットの作成の作成や、広報誌への掲載、商工会等との連携により周知を行う。			成果の方向性 コストの方向性	地域振興局 商工振興課	



■ 施策の方向性(改善策)

次年度の方向性	
---------	--

政策名	4 まちの活力と魅力の向上のために。(産業・観光)
施策名	18 農業の振興

★ 目指す姿

農地が適正に保全され、朝市等の利用により農業を身近に感じることができ、地産地消が浸透している。



SDGs該当分野



■ 施策の主な取り組み

① 農業体制の整備および市内農作物の魅力創造

後継者の支援や新たな担い手育成により、耕作放棄地の増加を防ぐとともに、農地に出没する有害鳥獣による農作物の被害防止に努めます。また、香芝産酒米等の生産拡大を図り、市内外への販路拡大などに取り組みます。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①-1	農産物鳥獣被害防止事業	有害鳥獣による農作物被害が発生している地域を的確に把握し、鳥獣を捕獲する猟友会との連携を図りながら対応を行います。	●
①-2	地産地消推進事業	100%香芝産の素材にこだわった農作物の生産拡大や販売の促進、市内学校給食での使用拡大に取り組みます。また、香芝産酒米の生産支援および香芝産酒のブランド化・販路拡大支援などを行います。	●

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
農業施設の改修達成率	%	改修済み箇所/改修予定箇所	100	100	100	100
市内酒造会社の香芝産酒米使用率	%	香芝産酒米使用量/酒米使用量	13	18	23	28

前年度実績値 (R2)	今年度の進捗					担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	目標達成度 (R6年度比)	
100	100					都市創造部 農政土木管理課
14	15					都市創造部 農政土木管理課

■ 実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価			今後の方向性		担当所管
		実績と課題	担当課 評価 (A/B/C)	3視点 必要性 有効性 効率性	所管判定		
方向性の内容					成果の方向性	コストの方向性	
①-1	農産物鳥獣被害防止事業	【実績】 ・香芝市有害鳥獣防止計画及香芝市アライグマ・ヌートリア防除実施計画に基づき、有害鳥獣による農作物被害が発生する地域において罠を設置し、捕獲を実施する				【成果の方向性】 ・【コストの方向性】	都市創造部 農政土木管理課
①-2	地産地消推進事業	【実績】 ・香芝産酒米の活用拡大を目指して、酒用米の作付け面積の拡大を図る				【成果の方向性】 ・【コストの方向性】	都市創造部 農政土木管理課



■ 施策の方向性(改善策)

次年度の方向性	
---------	--

担当課評価	成果の方向性		コストの方向性	
	拡充	事業	拡大	事業
A	事業			
B	事業	現状維持	現状維持	事業
C	事業	縮小	縮小	事業
	休廃止	事業	休廃止	事業

政策名	4 まちの活力と魅力の向上のために。(産業・観光)
施策名	19 観光の振興

★ 目指す姿

観光を目的とした多くの人を訪れることで、市内での消費が促進され、まちにさらなる活気生まれている。



SDGs該当分野



■ 施策の主な取り組み

① 観光情報の発信

市内の観光情報を発信し、来訪客の増加を図ることで、まちの活力を生み出します。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①-1	観光イベント実施事業	市内への来訪客の増加を図るため、観光資源を活用したイベントを実施します。また、パンフレットやSNS等を用いた情報発信、観光に関連したグッズ等の製作を行います。	●

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
観光客数	人	市内4地点の年間推定来訪者数、観光資源を活用したイベント参加者数の合計	40,496	41,000	42,000	43,000

前年度実績値 (R2)	今年度の進捗				担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	
34,746	37,000			コロナ禍による影響を鑑み、下方修正	地域振興局 商工振興課

② 観光資源の魅力向上

市内の観光資源の魅力を高めることで、さらなる来訪者の獲得やリピーターの創出を図ります。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②-1	観光資源魅力向上事業	観光名所への案内標識や解説板の設置、保存を目的とした整備等によって、アクセスや快適性の向上を図ります。	●

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
観光客の満足度	%	観光客アンケート調査で「香芝市への観光に満足」と回答した人数/全回答者数(二上山・どんづる峯への来訪者対象)	30	40	50	60

前年度実績値 (R2)	今年度の進捗				担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	
48	48				地域振興局 商工振興課

■ 実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価			今後の方向性		担当所管
		実績と課題	担当課 評価 (A/B/C)	3視点 必要性 有効性 効率性	所管判定 成果の方向性 コストの方向性	方向性の内容	
①-1	観光イベント実施事業	【実績】 ・葛城観光協議会の取り組みとして、葛城地域が有する観光資源を活用したイベント、PRを実施する。 【課題】 ・香芝市内の観光資源を活用したワーキングイベント(香芝ウォーク)を開催する。(10/17(日)予定) ・イベント配布用のグッズを作成する。(巾着等)				【成果の方向性】 ・【コストの方向性】	地域振興局 商工振興課
②-1	観光資源魅力向上事業	【実績】 ・観光振興の資する新たなツールとして、市内文化財や観光地を案内するスマートフォン向けアプリを開発する。(R2.4月リリース) ・どんづる峯の周回遊歩道の整備、清掃を実施する。また、植物の定点観察に係る調査を実施する。 ・二上山の美化清掃を実施する。 ・観光案内看板の設置(関原駅前・田尻地内)				【成果の方向性】 ・【コストの方向性】	地域振興局 商工振興課



■ 施策の方向性(改善策)

次年度の方向性	
---------	--

担当課評価	
A	事業
B	事業
C	事業

成果の方向性		コストの方向性	
拡充	事業	拡大	事業
現状維持	事業	現状維持	事業
縮小	事業	縮小	事業
休廃止	事業	休廃止	事業

政策名	5 まちと人の安全・安心のために。(安全・安心)
施策名	20 災害対策の強化

★ 目指す姿

市民一人ひとりや地域、行政が一丸となって防災・減災に取り組むことで、災害に対する強靱な基盤ができています。



SDGs該当分野



■ 施策の主な取り組み

① 災害時緊急体制の確立

災害が発生した状況においても、各々が適切な対応・行動を取り、円滑な初動対応・迅速な復旧活動を行えるよう、市職員の災害対応能力の向上を図るとともに、消防団・自主防災組織との連携を強化します。また、避難所の生活環境の向上を図ります。

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
災害用備蓄充足率	%	想定避難者数に対する食糧備蓄率・飲料水備蓄率・毛布備蓄率、指定避難所数に対するポータブル発電機備蓄率の平均値	56	75	90	100

前年度実績値 (R2)	今年度の進捗				担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	
74	74				生活安全部 危機管理課

食料、飲料水は100%を維持。  
毛布、発電機はR2に臨時交付金を活用し、購入のため、大幅に備蓄率が向上した。  
R3は保管場所の都合で購入予定なし。

② 防災・減災対策の強化

局地的豪雨による浸水被害や洪水時の被害を軽減する事業を推進するとともに、市民の意識高揚を図り、災害に強いまちづくりを進めます。

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
住宅耐震化率(耐震シェルター含む)	%	耐震性を有する住宅の数/住宅総数	90	94	96	98
浸水常襲地域内における家屋浸水解消戸数	戸	減災対策(対策対象戸数全298戸)により浸水被害が解消された家屋戸数(累計)	142	142	175	192
ため池治水対策率	%	対策量/大和川総合治水対策協議会における計画対策量	40	53	58	60

前年度実績値 (R2)	今年度の進捗				担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	
—	—				都市創造部 都市計画課
142	142				都市創造部 土木課
45	52				都市創造部 土木課

・住宅耐震化対策は適宜実施しているが、数値の把握は住宅土地統計調査(総務省)のデータを用いている。  
(調査は5年毎で次回調査は令和5年・令和6年公表予定)

③ 消防団体制の充実

全国的に消防団員が減少傾向にある中で、消防団の人員を確保し、資機材を充実させることで、地域防災力の中核として活動する消防団の機動力を強化します。

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
消防団員数	人	消防団の団員数	132	132	132	132

前年度実績値 (R2)	今年度の進捗				担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	
134	134				生活安全部 危機管理課

R2に2名増員のため、維持を目標とする。

④ 自主防災力の向上

防災に関する情報提供や訓練の実施支援等を通じて、地域の自主防災力を強化し、自助・共助による災害対応能力の向上を図ります。

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
自主防災組織活動率	%	訓練等を実施した自主防災組織数/自主防災組織数	44	60	70	80

前年度実績値 (R2)	今年度の進捗				担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	
11	11				生活安全部 危機管理課

コロナ禍による影響で活動が大幅減、目標を下方修正。  
(指標の算出方法は、訓練と出前講座回数と定義しているため。)  
自治会の要請に応じて資料提供等を実施。

■ 実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価			今後の方向性			担当所管
		実績と課題	担当課 評価 (A/B/C)	3視点 成果の方向性 必要性 有効性 効率性	所管判定		方向性の内容	
必要性	コストの方向性							
①-1	地域防災対策計画関連事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>【実績】                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症対策本部の事務局として、本部決定事項に伴う全庁への連絡や市民への情報周知などを実施する。</li> <li>・国土強靱化地域計画(R2年～R6年)に各所属が掲げた項目の実施状況を照会し、計画の進捗状況について確認を行う。</li> <li>・災害時の避難施設におけるトイレ確保のため、下田小学校におけるマンホールトイレ整備事業を実施する。</li> <li>・職員に対する防災研修を実施する。</li> </ul> </li> <li>【課題】</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>【成果の方向性】</li> <li>【コストの方向性】</li> </ul>	生活安全部 危機管理課	
①-2	防災用品等備蓄事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>【実績】                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・賞味期限を迎える非常用食料などを生活困窮者や自治会などへ配布しつつ、更新を行う。</li> <li>・備蓄品を保管するスペースを確保するべく、指定避難所となっている小中学校等と調整を行い、倉庫の設置を行う。</li> <li>・感染症対策物品として、アルコール消毒液、屋内用テント及びマット、屋内用パーテーション、備蓄用収納食庫を整備する。(R2年度繰越事業)</li> </ul> </li> <li>【課題】</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>【成果の方向性】</li> <li>【コストの方向性】</li> </ul>	生活安全部 危機管理課	
②-1	住宅耐震化啓発支援事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>【実績】                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・建築物の耐震化を促進させるため、無料耐震診断補助事業及び耐震改修工事補助事業を実施</li> <li>・地震発生時の住宅倒壊による人的被害の軽減を目的に、耐震シェルター設置工事補助事業を実施</li> <li>・地震等により倒壊のおそれのある危険なブロック塀等を撤去し、人的被害の軽減や避難経路の確保を目的に、ブロック塀撤去工事補助事業を実施</li> <li>・市民フォーラム「安全・安心 住宅耐震リフォーラム」の個別相談会の実施(年1回 6月開催)</li> </ul> </li> <li>【課題】</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>【成果の方向性】</li> <li>【コストの方向性】</li> </ul>	都市創造部 都市計画課	
②-2	浸水対策事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>【実績】                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・市管理河川及び水路の浸水対策を行う。また、県管理河川に係る事業計画と連携して浸水地域の解消を行う。</li> </ul> </li> <li>【課題】</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>【成果の方向性】</li> <li>【コストの方向性】</li> </ul>	都市創造部 土木課	
②-3	大和川流域総合治水対策事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>【実績】                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・畑地区の2箇所のため池において、治水対策の工事を行う。</li> </ul> </li> <li>【課題】</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>【成果の方向性】</li> <li>【コストの方向性】</li> </ul>	都市創造部 土木課	
③-1	消防団活性化事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>【実績】                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・消防団の活動や重要性を発信するため、「消防だより」を発刊する。</li> <li>・11/9「防火バレー」を実施する。</li> <li>・消防団全体及び各分団における訓練を実施する。</li> <li>・都市団長会等が実施する各種訓練等へ参加する。</li> <li>※各分団の個別訓練は、感染症対策を行った上で実施予定。状況により中止の場合あり。</li> </ul> </li> <li>【課題】</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>【成果の方向性】</li> <li>【コストの方向性】</li> </ul>	生活安全部 危機管理課	
④-1	防災意識啓発事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>【実績】                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・自主防災組織が実施する「防災資機材等の整備」「防災士など防災リーダーとなる人材の育成事業」「防災訓練などの実施費用」などに対する補助を行う。</li> <li>・避難情報に係る制度改正や分散避難などについて、広報紙や市公式LINEで周知する。</li> <li>・出水期前に広報紙で防災に関する特集記事を掲載する。また、防災週間(8/30～9/5)に合わせ、市役所で啓発パネルの設置を行う。</li> <li>・市民等に対する出前講座や訓練支援を実施する。※コロナ禍の状況により判断。</li> <li>・自主防災組織における避難所運営マニュアルの作成を促進するため、市が提供するマニュアル素案の改良と各地域への配布について検討する。</li> </ul> </li> <li>【課題】</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>【成果の方向性】</li> <li>【コストの方向性】</li> </ul>	生活安全部 危機管理課	

■ 施策の方向性(改善策)

次年度の方向性	
---------	--

担当課評価	成果の方向性		コストの方向性	
	拡充	現状維持	拡大	縮小
A 事業	事業	事業	事業	事業
B 事業	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持
C 事業	縮小	縮小	縮小	縮小
	休廃止	休廃止	休廃止	休廃止

政策名	5 まちと人の安全・安心のために。(安全・安心)
施策名	21 生活安全対策の強化

★ 目指す姿

市民一人ひとりが防犯に関する知識と意識を持ち、地域ぐるみで治安を守りながら、安心して暮らすことができる。



■ 施策の主な取り組み

① 防犯意識の向上

市民の防犯意識の向上を図り、自主的な防犯活動を促進することで、安全・安心なまちづくりを推進します。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①-1	防犯意識啓発事業	毎月の地域安全ニュースの発行や年金給付日に合わせた特殊詐欺防止のための啓発活動など、積極的な広報活動を実施することで、市民の防犯意識の向上を図ります。また、香芝警察署や地域安全推進委員等と連携し、地域の見守り活動を実施します。各地域においては、自治会の自主防犯組織を支援するとともに、連携のもと、防犯カメラ・防犯灯等の設置を促進します。(関連補助金に関して、「施策13 地域コミュニティの醸成・活性化 ①自治会活動の支援」に記載しています。)	●

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
年間刑法犯認知件数	件	香芝市内における年間刑法犯認知件数(暦年単位)	238	230	220	210
「特殊詐欺」認知件数	件	市内における年間刑法犯認知件数のうち「特殊詐欺」といわれる罪種別認知件数(暦年単位)	5	5	5	5
侵入窃盗関係認知件数	件	市内における年間刑法犯認知件数のうち「住宅対象侵入窃盗」及び「事業所対象侵入窃盗」といわれる罪種別認知件数の直近4年間の平均件数(暦年単位)	27	25	22	19
「子ども110番の家」の協力率	%	「子ども110番の家」の協力世帯数/世帯数	4.1	4.3	4.6	5.0

前年度実績値 (R2)	今年度の進捗				担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	
232	232				生活安全部 生活安全課
3	3				生活安全部 生活安全課
26	26				生活安全部 生活安全課
4.1	4.2				生活安全部 生活安全課

② 消費者保護の推進

多様化する消費者トラブルを未然に防止するとともに、トラブルに対して適切な相談対応を行うことで被害を最小限に抑えることに努めます。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②-1	消費生活安全事業	市民からの相談に対し、適切に対応できる相談体制を確保します。また、消費生活に係るトラブルを未然に防止するため、多発しているトラブル例や対処方法について、広報などを通じて啓発します。	●

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
消費生活相談の解決率	%	助言・情報提供・斡旋・紹介により処理した件数/年間相談件数	92	92	92	92

前年度実績値 (R2)	今年度の進捗				担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	
96	96				地域振興局 商工振興課

■ 実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価			今後の方向性		担当所管
		実績と課題	担当課評価 (A/B/C)	3視点 成果の方向性 必要性 有効性 効率性	所管判定 成果の方向性 コストの方向性	方向性の内容	
①-1	防犯意識啓発事業						【実績】 ・市民の防犯意識の向上を目的として、地域安全ニュースを毎月配信するとともに、SNSを活用した広報周知を定期的に行う。 ・感謝状の贈呈等、地域における自主的な見守り活動を継続してもらうための制度を立ち上げる。 ・市が設置する防犯カメラの管理及び点検を適切に行う。 【課題】
②-1	消費生活安全事業	【実績】 ・広報紙や市ホームページ内にて詐欺等に対する注意喚起にかかる記事の掲載 ・相談窓口案内の物品の配布による広報活動 ・相談員の増員による相談体制の強化及び効果検証 【課題】				【成果の方向性】 ・ 【コストの方向性】 ・	地域振興局 商工振興課



■ 施策の方向性(改善策)

次年度の方向性	
---------	--

担当課評価		成果の方向性		コストの方向性	
A	事業	拡充	事業	拡大	事業
B	事業	現状維持	事業	現状維持	事業
C	事業	縮小	事業	縮小	事業
		休廃止	事業	休廃止	事業

政策名	5 まちと人の安全・安心のために。(安全・安心)
施策名	22 交通安全対策の強化

★ 目指す姿

正しい交通ルールやマナーが守られ、誰もが安全で安心して過ごすことができる。



SDGs該当分野



■ 施策の主な取り組み

① 交通安全対策の推進

香芝警察署と連携した交通安全に関する啓発活動などを行うことにより、市民の交通安全意識の高揚を図り、市民参加型の交通安全活動を推進します。また、駅周辺の自転車駐車場・自動車駐車場の管理や放置自転車等禁止区域での指導・撤去を行い、駐車秩序を保つことで、交通安全の促進を図り、交通違反や交通事故発生抑制に努めます。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①-1	交通安全対策啓発事業	香芝警察署や関係団体と連携し、交通安全啓発活動及び交通安全立哨活動を実施します。また、高齢者の運転免許証自主返納等を支援します。	●
①-2	自転車等駐車場管理事業	鉄道駅周辺の交通安全を確保・維持するため、適正で効率的な自転車等駐車場の管理・運営を行います。	●
①-3	放置自転車対策推進事業	放置自転車等禁止区域における指導や撤去を行い、放置自転車の解消を図ります。	●

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値			
				R6	R10	R14	
交通事故発生件数	件	年間交通事故発生件数(暦年単位)	182	170	165	160	
運転免許自主返納者数 高齢者運転免許自主返納支援事業補助金申請者数	件	運転免許自主返納者数(暦年単位) 生活安全課で算出	252	260	270	280	
放置自転車等撤去台数	台	年間放置自転車等撤去台数	117	110	100	90	

前年度実績値 (R2)	今年度の進捗					担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	目標達成度 (R6年度比)	
160	160					生活安全部 生活安全課
62	260					生活安全部 生活安全課
69	90					生活安全部 生活安全課

② 交通安全施設の整備

交通安全施設を整備することにより、歩行者の安全確保に努めます。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②-1	交通安全施設整備事業	通学路交通安全プログラムなどに基づき、交差点付近の防護柵設置などの安全対策を実施します。	●

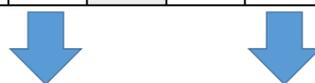
◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値			
				R6	R10	R14	
施設整備率	%	対策済みの箇所数/通学路交通安全プログラムに基づく要対策箇所数(累計)	85	95	100	100	

前年度実績値 (R2)	今年度の進捗					担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	目標達成度 (R6年度比)	
85	90					都市創造部 農政土木管理課

■ 実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価			今後の方向性			担当所管
		実績と課題	担当課 評価 (A/B/C)	3視点 必要性 有効性 効率性	所管判定		方向性の内容	
成果の方向性	コストの方向性							
①-1	交通安全対策啓発事業	【実績】 ・香芝警察署、奈良県交通安全協会香芝支部協会、交通安全母の会等と連携し、毎月の街頭立哨に加え、地元からの要望も踏まえた交通安全啓発活動を行う。 ・高齢者運転免許証自主返納等支援制度を周知し、運転に不安を感じる方の自主返納を促進する。 【課題】			【成果の方向性】 ・ 【コストの方向性】 ・	生活安全部 生活安全課		
①-2	自転車等駐車場管理事業	【実績】 ・(自転車駐車場)令和2年度に実施した指定管理者選定委員会により選定された香芝市シルバー人材センターを指定管理者として運営・管理を行う。 ・近鉄五位堂駅北自転車駐車場および近鉄二上駅北自転車駐車場の照明器具をLED照明に取り替えるための修繕工事を行う。 ・(自動車駐車場)令和2年度に実施した指定管理者選定委員会により選定されたタイムズグループを指定管理者として、本年度より無人で運営・管理を行う。 【課題】			【成果の方向性】 ・ 【コストの方向性】 ・	生活安全部 生活安全課		
①-3	放置自転車対策推進事業	【実績】 ・放置自転車撤去業務を奈良県シルバー人材センター協議会に、自転車保管所における自転車の保管・返還業務を香芝市シルバー人材センターに委託し、事業を行う。 ・自転車等放置禁止区域看板および区域図の老朽化に伴う取替修繕工事を実施する。 【課題】			【成果の方向性】 ・ 【コストの方向性】 ・	生活安全部 生活安全課		
②-1	交通安全施設整備事業	【実績】 ・通学路安全対策プログラムに基づき、要対策箇所の整備を行う。(白線やグリーンベルトの設置・補修) 【課題】			【成果の方向性】 ・ 【コストの方向性】 ・	都市創造部 農政土木管理課		



■ 施策の方向性(改善策)

次年度の方向性	
---------	--

担当課評価	
A	事業
B	事業
C	事業

成果の方向性		コストの方向性	
拡充	事業	拡大	事業
現状維持	事業	現状維持	事業
縮小	事業	縮小	事業
休廃止	事業	休廃止	事業

政策名	6 自然と調和した快適で便利な暮らしのために。(自然・環境・都市基盤)
施策名	23 環境問題への取り組み強化

★ 目指す姿

みんなが環境について自ら考え、環境に配慮した生活・活動を実践している。



SDGs該当分野



■ 施策の主な取り組み

① ごみ減量と資源化の推進

市民・事業者・行政の協働のもと、ごみの発生抑制、新たな資源化を推進し、環境への負荷を減らします。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①-1	ごみ減量及び資源化推進事業	ごみの発生・排出抑制のための各種事業(電動式生ごみ処理機の購入補助、集団資源回収奨励、マイバッグ運動など)や分別・収集に係るルールの見直し、リユースイベント等を実施します。	—

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
1人当たりの1日のごみ排出量	g	家庭系ごみ総量/365日/人口	675	533	533	533
ごみの資源化率	%	資源化量/家庭系ごみ総量	14.5	23	23	23

前年度実績値 (R2)	今年度の進捗				担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	
667	647				市民環境部 市民衛生課
13.8	16.2				市民環境部 市民衛生課

② 環境保全対策の推進

市民の環境に対する意識向上を促し、市内の環境保全を図ります。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②-1	不法投棄防止啓発事業	不法投棄の温床になりやすい現場に対し監視カメラの設置、パトロール、啓発看板等で対策するとともに、定期的な不法投棄物を撤去します。	●
②-2	生活環境保全事業	環境に関する情報発信、あき地所有者への雑草除去通知、環境調査、公害苦情対応等を実施します。	●

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
不法投棄相談件数	件	相談件数	25	23	21	19
公害苦情相談件数	件	相談件数	45	38	31	24

前年度実績値 (R2)	今年度の進捗				担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	
26	24				市民環境部 市民衛生課
64	43				市民環境部 市民衛生課

コロナ自粛による在宅時間の増加が要因と思われる

■ 実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価			今後の方向性			担当所管
		実績と課題	担当課 評価 (A/B/C)	3視点 必要性 有効性 効率性	所管判定		方向性の内容	
今年度の事業実施計画					成果の方向性	コストの方向性		
①-1	ごみ減量及び資源化推進事業	【実績】 ・新聞、雑誌、ダンボール等、再生利用可能な一般廃棄物を集団回収するPTA等の各種団体に対し、奨励金の交付を実施する。 ・家庭内で発生する生ごみ等の減量のため、電動式生ごみ処理機を購入される方に対し、購入金額の一部の補助を実施する。 ・また使える“食器類”を皆さまから集め、必要とするかたに差し上げるリユースコーナー「ええもんクルっと市・コーナー」を開催する。 【課題】					【成果の方向性】 ・ 【コストの方向性】 ・	市民環境部 市民衛生課
②-1	不法投棄防止啓発事業	【実績】 ・不法投棄を抑制するため、広報活動及び監視パトロールを実施する。 ・不法投棄を抑制するため、通報があれば必要に応じて不法投棄物を撤去する。 ・不法投棄を抑制するため、監視カメラの保守点検等の管理を行う。 【課題】					【成果の方向性】 ・ 【コストの方向性】 ・	市民環境部 市民衛生課
②-2	生活環境保全事業	【実績】 ・広報キャラクターを使用し、環境にかかる様々なテーマを広報にて発信 ・所有者への雑草除去通知送付及び所有者から委託された雑草除去の実施 ・公害苦情(騒音、振動、悪臭)の聞き取り及び行為者への改善依頼や公害調査(自動車騒音、環境騒音、河川の大气汚染、水質検査)の実施 【課題】					【成果の方向性】 ・ 【コストの方向性】 ・	市民環境部 市民衛生課

■ 施策の方向性(改善策)

次年度の方向性	
---------	--

担当課評価	
A	事業
B	事業
C	事業

成果の方向性		コストの方向性	
拡充	事業	拡大	事業
現状維持	事業	現状維持	事業
縮小	事業	縮小	事業
休廃止	事業	休廃止	事業

政策名	6 自然と調和した快適で便利な暮らしのために。(自然・環境・都市基盤)
施策名	24 自然環境・景観の保全

★ 目指す姿

街路や公園、河川などが綺麗に保たれていて、一人ひとりがその状態を維持しようと努めている。



SDGs該当分野



■ 施策の主な取り組み

① 美しい自然環境・景観の保全

まちを形成する道路や公園、河川および森林の適切な管理により、美しい自然環境・住環境の保全を図ります。また、美しいまち並み景観の形成および屋外広告物の適正な管理を図るとともに、地域を主体とした景観形成の仕組みづくりを推進します。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①-1	街路美化推進事業	まちを形成する道路等について、定期的な草刈り、剪定などの美化作業を行います。また、地域の美化活動を促進します。	●
①-2	都市公園維持管理補修事業	誰もが安全、快適に利用できる公園環境のための適切な維持管理を行います。	●
①-3	河川維持管理事業	河川・水路の定期的な点検・美化清掃・維持補修を行うとともに、土砂上げ等適切な維持管理により、河川の氾濫を抑制します。	●
①-4	屋外広告物規制事業	良好な景観・風致を維持するために、広告物掲出時の指導・啓発を行うとともに、違反広告物の除却作業を行い、その削減に努めます。	—

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
森林・街路・公園維持管理面積	ha	維持管理体制の整っている森林面積、街路植樹面積、公園面積の総数(累計)	44	44	77	130

前年度実績値 (R2)	今年度の進捗					担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	目標達成度 (R6年度比)	
44	44					都市創造部 農政土木管理課

維持管理体制の整っている公園等について継続して維持管理を実施。森林については整備に向け所有者との調整を行う。

■ 実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価			今後の方向性		担当所管
		実績と課題	担当課 評価 (A/B/C)	3視点 必要性 有効性 効率性	所管判定 成果の方向性 コストの方向性	方向性の内容	
①-1	街路美化推進事業						【実績】 ・定期的な道路の草刈、街路樹の剪定、側溝等の清掃を行う。 ・地域の美化活動に伴うゴミ、草等を改修する。 【課題】
①-2	都市公園維持管理補修事業	【実績】 ・都市公園における樹木の剪定、遊具等の安全点検を定期的に行い、適切な維持管理を行う。 ・旭ヶ丘近隣公園、観正山近隣公園、高塚地区公園、今池親水公園の施設更新工事を行う。 【課題】				【成果の方向性】 ・ 【コストの方向性】 ・	都市創造部 農政土木管理課
①-3	河川維持管理事業	【実績】 ・市管理河川、水路の土砂あげ、河川敷の草刈り等を定期的に行う。 ・市管理河川、水路の点検、維持補修工事を行う。 ・市管理水路改修工事を行う。 【課題】				【成果の方向性】 ・ 【コストの方向性】 ・	都市創造部 農政土木管理課
①-4	屋外広告物規制事業	【実績】 ・屋外広告物の新規、継続、撤去等許認可事務 ・県と中和幹線沿道市町が連携し、中和幹線の良好な景観形成に向けた施策に協働で取り組む ・違反広告物の簡易除却 ・屋外広告物の定期的な安全点検実施に係る周知・啓発 【課題】				【成果の方向性】 ・ 【コストの方向性】 ・	都市創造部 都市計画課



■ 施策の方向性(改善策)

次年度の方向性	
---------	--

担当課評価	
A	事業
B	事業
C	事業

成果の方向性		コストの方向性	
拡充	事業	拡大	事業
現状維持	事業	現状維持	事業
縮小	事業	縮小	事業
休廃止	事業	休廃止	事業

政策名	6 自然と調和した快適で便利な暮らしのために。(自然・環境・都市基盤)
施策名	25 良好な市街地・持続可能な公共交通ネットワークの形成

★ 目指す姿

良好な市街地が形成され、誰もが安心して自由に快適に移動できている。



SDGs該当分野



■ 施策の主な取り組み

① 良好な市街地の形成

社会情勢の変化にともなう新たな課題や住民のニーズに対応するため、まちづくりに関する計画の策定や見直しを進めるとともに、管理不全な空き家等の発生抑制など、適正な土地利用を推進します。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①-1	空家等対策関係事業	空き家管理の重要性を周知するため、所有者等への情報提供を行うとともに、問題のある空き家等の把握に努め、所有者等による適正な管理や活用を促進します。	●

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値			前年度実績値 (R2)	今年度の進捗					担当所管	
				R6	R10	R14		目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	目標達成度 (R6年度比)		
空き家率	%	空き家数/住宅総数	8.2	8.2	8.2	8.2	—	—						都市創造部 都市計画課

空家対策は適宜実施しているが、数値の把握は住宅土地統計調査(総務省)のデータを用いている。(調査は5年毎で次回調査は令和5年・令和6年公表予定)

② 持続可能な地域公共交通の確立

地域公共交通を維持していくために、モビリティマネジメントや交通弱者の外出支援など実施し、持続可能な地域公共交通の利用促進に取り組むことで、誰もが移動しやすい快適な暮らしの提供に努めます。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②-1	地域公共交通事業	民間の公共交通機関との連携を図りながら、地域公共交通(コミュニティバス、デマンド交通)を運営します。また、モビリティマネジメントなど実施し、地域公共交通の利用促進に取り組めます。	●

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値			前年度実績値 (R2)	今年度の進捗					担当所管	
				R6	R10	R14		目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	目標達成度 (R6年度比)		
コミュニティバス利用者数	人	コミュニティバスの利用者数	58,660	65,000	65,000	65,000	31,262	34,388						生活安全部 生活安全課
デマンド交通利用者数	人	デマンド交通の利用者数	43,478	47,000	47,000	47,000	35,692	39,261						生活安全部 生活安全課
JR西日本の利用者数	千人	JR西日本市内3駅の利用者数	1,613 1,576	1,613 1,576	1,613 1,576	1,613 1,576	—	—						生活安全部 生活安全課
近畿日本鉄道の利用者数	千人	近畿日本鉄道市内5駅の利用者数	8,894 8,913	8,894 8,913	8,894 8,913	8,894 8,913	—	—						生活安全部 生活安全課
奈良交通の利用者数	千人	奈良交通市内バス4路線の利用者数	1,679	1,679	1,679	1,679	1,885	2,074						生活安全部 生活安全課
タクシー(西大和交通圏)の利用者数	千人	西大和交通圏全体のタクシーの利用者数	865	865	865	865	832	915						生活安全部 生活安全課

■ 実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価			今後の方向性			担当所管
		実績と課題	担当課 評価 (A/B/C)	3視点 必要性 有効性 効率性	所管判定		方向性の内容	
成果の方向性	コストの方向性							
①-1	空家等対策関係事業	【実績】 ・管理不全の空き家所有者等に対し、所有者等の責務を周知するとともに空き家管理サービス、市場流通の促進を図る等の情報提供 【課題】 ・空き家の除却、利活用に必要な経費の一部を補助 ・納税通知書を活用した建物所有者等への情報提供					【成果の方向性】 ・ 【コストの方向性】 ・	都市創造部 都市計画課
②-1	地域公共交通事業	【実績】 ・香芝市コミュニティバス再編(ダイヤ・ルート等)について検討する。 ・安全な運行管理を実施するため、定期的に運行事業者との協議を実施する。(月1回以上) ・コミュニティバス運行計画の検討のため、香芝市地域公共交通活性化協議会を開催する(5月・7月・10月・2月) ・ワクチン接種率向上のため、高齢者を対象にコミュニティバス・タクシー共通利用券の配布(1人4枚)を実施する。利用期間 令和3年12月31日まで 【課題】 ・路線バス、民間タクシー事業者への支援として、マスク・消毒液を配布する。					【成果の方向性】 ・ 【コストの方向性】 ・	生活安全部 生活安全課



■ 施策の方向性(改善策)

次年度の方向性	
---------	--

担当課評価	
A	事業
B	事業
C	事業

成果の方向性		コストの方向性	
拡充	事業	拡大	事業
現状維持	事業	現状維持	事業
縮小	事業	縮小	事業
休廃止	事業	休廃止	事業

政策名	6 自然と調和した快適で便利な暮らしのために。(自然・環境・都市基盤)
施策名	26 生活基盤・地域拠点の整備・機能の充実

★ 目指す姿

バリアフリーの充実した施設が整い、人と自然が共存する生活環境が構築されている。



SDGs該当分野



■ 施策の主な取り組み

① 公園整備の推進

身近な場所において、余暇を楽しむ機会を増やすため、安全・快適に利用できる公園の整備を図ります。また、多くの人が集い、活動できるスポーツ公園、総合公園の整備を進め、地域の賑わいの場とします。

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初				前年度実績値					担当所管	
			(R1)	R6	R10	R14	(R2)	目標値	中間値(9月末)	実績値(年度末)	目標達成度(当該年度比)		目標達成度(R6年度比)
住民1人当たりの都市公園の敷地面積	m <sup>2</sup>	都市公園面積/人口	5.1	5.5	6.8	7.9	5.2	5.2					都市創造部 土木課

令和2年に公園を供用開始したことによる面積の増加

② バリアフリー化の推進

バリアフリー基本構想に基づき、高齢者や障がい者をはじめ、すべての人にやさしいまちづくりを進めます。

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初				前年度実績値					担当所管	
			(R1)	R6	R10	R14	(R2)	目標値	中間値(9月末)	実績値(年度末)	目標達成度(当該年度比)		目標達成度(R6年度比)
重点整備地区内のバリアフリー特定事業完了率	%	特定事業(バリアフリー化工事等)が完了した事業数/特定事業の全事業数	32.9	54.4	73.8	100	38.9	43.1					都市創造部 都市計画課

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②-1	バリアフリー推進事業	香芝市バリアフリー基本構想に基づき、特定事業の進捗を管理し、バリアフリー化を推進するとともに、バリアフリー教室の開催などにより「心のバリアフリー」を推進します。	●
②-2	歩道等バリアフリー化事業	段差の解消や視覚障がい者誘導ブロック・スロープ等の設置により、歩道等のバリアフリー化を推進します。	●
②-3	既存道路バリアフリー化事業	香芝市バリアフリー基本構想における重点整備地区内の道路について、用地取得をとまなう歩道の設置や道路構造の改良を行うことで、歩行空間の確保を目指します。	●

③ 地域拠点としての駅周辺整備

駅利用者の利便性の向上および安全性の確保を促進します。

◆ 指標の達成状況

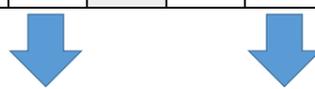
指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初				前年度実績値					担当所管	
			(R1)	R6	R10	R14	(R2)	目標値	中間値(9月末)	実績値(年度末)	目標達成度(当該年度比)		目標達成度(R6年度比)
駅周辺整備率(踏切・暫定広場整備を含む)	%	整備した箇所数(累計)/整備対象箇所数	68	72	72	76	72	72					都市創造部 土木課

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
③-1	駅周辺整備事業	鉄道事業者をはじめとする権利者および関係機関と協議し、合意形成に至った箇所について整備します。	●

■ 実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価			今後の方向性			担当所管
		実績と課題	担当課評価(A/B/C)	3視点 成果の方向性 必要性 有効性 効率性	所管判定 成果の方向性 コストの方向性	方向性の内容		
①-1	香芝市スポーツ公園整備事業	【実績】 ・香芝市スポーツ公園(プール区域)において、造成工事を行う。 ・プール施設の基本設計 ・事業用地の補償調査および交渉					【成果の方向性】 ・ 【コストの方向性】 ・	都市創造部 土木課
①-2	街区公園・親水緑地整備事業	【実績】 ・今年度は事業実施箇所はないが、今後の事業実施に向けて関係機関(自治会等)と協議を進めている。					【成果の方向性】 ・ 【コストの方向性】 ・	都市創造部 土木課
①-3	香芝総合公園整備事業	【実績】 ・総合公園事業用地取得に係る地権者との協議					【成果の方向性】 ・ 【コストの方向性】 ・	都市創造部 都市計画課
②-1	バリアフリー推進事業	【実績】 ・JR香芝駅バリアフリー化事業の補助(令和3年度はJR西日本が実施する駅バリアフリー化に向けての設計業務に要する費用補助を実施予定) ・バリアフリー教室の実施(年1回 10月頃実施)					【成果の方向性】 ・ 【コストの方向性】 ・	都市創造部 都市計画課
②-2	歩道等バリアフリー化事業	【実績】 ・真美ヶ丘幹線の歩道について、バリアフリー化工事(歩行空間の確保・視覚障害者誘導表示の設置)を行う。					【成果の方向性】 ・ 【コストの方向性】 ・	都市創造部 農政土木管理課
②-3	既存道路バリアフリー化事業	【実績】 ・土地の価格算定を行い、地権者に対して用地取得交渉を行い、取得する。					【成果の方向性】 ・ 【コストの方向性】 ・	都市創造部 土木課
③-1	駅周辺整備事業	【実績】 ・近鉄二上山駅前広場において、整備工事を行う。					【成果の方向性】 ・ 【コストの方向性】 ・	都市創造部 土木課



■ 施策の方向性(改善策)

次年度の方向性	
---------	--

担当課評価	
A	事業
B	事業
C	事業

成果の方向性		コストの方向性	
拡充	事業	拡大	事業
現状維持	事業	現状維持	事業
縮小	事業	縮小	事業
休廃止	事業	休廃止	事業

政策名	6 自然と調和した快適で便利な暮らしのために。(自然・環境・都市基盤)
施策名	27 道路整備の充実

★ 目指す姿

交通混雑が解消され、誰もが安全に利用できる道路が確保されている。



SDGs該当分野



■ 施策の主な取り組み

① 幹線道路の整備

幹線道路のネットワーク強化を図るため、計画的に整備を進めます。

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
都市計画道路供用済延長	km	これまでに供用を開始した都市計画道路延長(累計)	27.3	27.7	28.6	30.1

前年度実績値 (R2)	今年度の進捗				担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	
27.3	27.3				都市創造部 土木課

② 生活道路等の安全性の確保

安全性や緊急性による優先度を踏まえ、生活道路等の適切な管理・整備を進めます。

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
市道の新設・改良箇所数	箇所	市道において、新設・改良工事を実施した箇所数(令和2年度からの累計)	0	4	8	12

前年度実績値 (R2)	今年度の進捗				担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	
0	3				都市創造部 土木課

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①-1	主要幹線道路整備事業	都市計画道路の整備を段階的に進めます。	●

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②-1	道路維持管理補修事業	道路の路面状況等を把握するため、定期的なパトロールを行うとともに、市民から寄せられた情報などを元に補修を行います。	●
②-2	橋梁点検及び長寿命化修繕事業	「番芝市橋梁長寿命化修繕計画」に基づき、道路橋の安全性・耐用年数の向上を図るため、修繕工事を実施します。	●
②-3	道路新設改良事業	道路の新設・拡幅整備を推進し、特に拡幅整備においては、部分的な待避所の設置や隔切りなど、状況に応じた整備を図ります。	●

■ 実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価		今後の方向性		担当所管
		実績と課題	担当課評価 (A/B/C)	3視点 必要性 有効性 効率性	所管判定 成果の方向性 コストの方向性	
①-1	主要幹線道路整備事業 ・尼寺間屋線および細分川線(Ⅰ工区)の築造工事を実施する。 ・尼寺間屋線および細分川線(Ⅰ工区)の地権者に対して用地取得交渉を行い、取得する。 ・事業用地の補償調査	【実績】 ・ 【課題】 ・				都市創造部 土木課
②-1	道路維持管理補修事業 ・道路の路面状況等について、定期的なパトロールを行うとともに、市民から寄せられた情報を元に補修を行い、道路機能の維持管理に努める。	【実績】 ・ 【課題】 ・				都市創造部 農政土木管理課
②-2	橋梁点検及び長寿命化修繕事業 ・橋梁長寿命化計画を基に、1巡目の点検結果でⅢ判定(早期に監視や対策が必要な状態)となった橋梁について、修繕設計を行なう。	【実績】 ・ 【課題】 ・				都市創造部 農政土木管理課
②-3	道路新設改良事業 ・市内の狭い道路の整備(拡幅工事等)を促進する。	【実績】 ・ 【課題】 ・				都市創造部 土木課



■ 施策の方向性(改善策)

次年度の方向性	・ ・
---------	--------

担当課評価	成果の方向性		コストの方向性	
	拡充	事業	拡大	事業
A	事業		事業	
B	事業		事業	
C	事業		事業	

政策名	6 自然と調和した快適で便利な暮らしのために。(自然・環境・都市基盤)
施策名	28 上水道の基盤強化

★ 目指す姿

「快適な水道サービスと安定した水道事業を目指して」という基本理念の実現に向けて、安心・安全・強靱な水道事業の運営が行われている。



SDGs該当分野



■ 施策の主な取り組み

① 安心・安全・安定した水道の供給

管路の耐震化および施設の適切な維持管理により、安心・安全な水道水の安定供給に努めます。また、応急給水用品の整備や飲料水貯水槽施設の設置などにより、災害時の持続可能な供給体制の充実に努めます。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①-1	水道施設更新事業	漏水の可能性のある老朽管の更新及び最重要管である口径300mm以上の基幹管路の耐震化を重点的に行います。	●

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値			前年度実績値 (R2)	今年度の進捗					担当所管	
				R6	R10	R14		目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	目標達成度 (R6年度比)		
基幹管路の耐震化率	%	基幹管路(口径300mm以上の配水管)の耐震管の累計総延長/基幹管路総延長	11.9	28.6	45.3	62.1	11.9	14.3						上下水道部 工務課

R2の工事がR3に繰り越したため、R2は増減なし

② 健全な水道事業の運営

適正な水道料金を維持し、適切なサービスを継続して提供できるよう、健全な水道事業運営に努め、今後県域水道一体化の検討も含め、経営基盤の強化を図ります。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②-1	水道事業の経営健全化事業	委託業務の適正化や事務の効率化に取り組み、効率的な事業運営に努めます。また、ホームページ等による情報提供やお客さまのニーズに合ったサービスの提供に取り組みます。	●

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値			前年度実績値 (R2)	今年度の進捗					担当所管	
				R6	R10	R14		目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	目標達成度 (R6年度比)		
経常収支比率	%	経常収益/経常費用	113.8	100以上	100以上	100以上	105.5	100以上						上下水道部 業務課

■ 実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価			今後の方向性			担当所管
		実績と課題	担当課 評価 (A/B/C)	3視点 必要性 有効性 効率性	所管判定 成果の方向性 コストの方向性	方向性の内容		
①-1	水道施設更新事業	【実績】 ・配水管布設替の実施(穴虫、逢坂、鎌田、瓦口、下田東、良福寺) ・鉛製給水管布設替の実施(逢坂、下田東)				【成果の方向性】 ・ 【コストの方向性】 ・	上下水道部 工務課	
②-1	水道事業の経営健全化事業	【実績】 ・毎月検針・毎月請求から隔月検針・隔月請求への変更の実施。 ・検針及び開閉性等業務委託をはじめとする委託業務内容の適正化。 ・県域水道一体化に係る検討。				【成果の方向性】 ・ 【コストの方向性】 ・	上下水道部 業務課	



■ 施策の方向性(改善策)

次年度の方向性	・ ・
---------	--------

担当課評価	
A	事業
B	事業
C	事業

成果の方向性		コストの方向性	
拡充	事業	拡大	事業
現状維持	事業	現状維持	事業
縮小	事業	縮小	事業
休廃止	事業	休廃止	事業

政策名	6 自然と調和した快適で便利な暮らしのために。(自然・環境・都市基盤)
施策名	29 下水道の整備

★ 目指す姿

下水道が安定的に機能し、誰もが衛生的に暮らすことができている。



SDGs該当分野



■ 施策の主な取り組み

① 下水道の整備・更新

管渠整備を促進し、普及率の向上を図るとともに、管路施設老朽化の防止に努めます。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①-1	公共下水道管渠整備事業	幹線管渠の整備を進めるとともに面的整備を進め、供用開始区域の拡大と普及率の向上を図ります。また、管路施設の老朽化による道路陥没事故等を未然に防止するため、施設の更新を行います。	●

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
下水道の人口普及率	%	下水道処理人口(下水道を利用できる人数)/住基人口	73.2	80.4	87.7	95

前年度実績値 (R2)	今年度の進捗					担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	目標達成度 (R6年度比)	
75.3	76.1					上下水道部 下水道課

② 水洗化の促進

公共下水道への未接続世帯に対し、下水道への接続を促すことにより、水洗化の普及促進および水洗化率の向上に努めます。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②-1	水洗化促進事業	供用開始区域において、下水道の未接続世帯に対し個別訪問し、接続の促進を行います。	●

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
下水道の水洗化率	%	下水道接続人口(下水道を利用している人数)/下水道処理人口(下水道を利用できる人数)	90.6	95	96	97

前年度実績値 (R2)	今年度の進捗					担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	目標達成度 (R6年度比)	
90.1	91					上下水道部 下水道課

③ 持続的な下水道機能の確保

下水道施設の計画的な点検や排水に対する水質指導により、持続的な下水道機能の確保を図ります。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
③-1	下水道維持管理事業	マンホールポンプ施設の計画的な保守点検や、下水排水基準に適合しない汚水を排出する事業所への指導を行います。	●

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
法定水質基準遵守率	%	法律に基づく水質試験の基準を遵守した流域接続点の箇所数/市内の流域接続点の箇所数	100	100	100	100

前年度実績値 (R2)	今年度の進捗					担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	目標達成度 (R6年度比)	
100	100					上下水道部 下水道課

■ 実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価			今後の方向性			担当所管
		実績と課題	担当課 評価 (A/B/C)	3視点 必要性 有効性 効率性	所管判定 成果の方向性 コストの方向性	方向性の内容		
①-1	公共下水道管渠整備事業 ・瓦口・別所・五位堂・鎌田・良福寺・磯壁・穴虫・逢坂・狐井地内において下水道管渠約5.5kmの整備を実施する。					【実績】 【課題】		
②-1	水洗化促進事業 ・公共下水道未接続者への普及啓発を専門に行う「下水道接続推進員」を雇用し、前年度の接続申請件数(464件)以上を目標に啓発を実施する。	【実績】 【課題】				【成果の方向性】 【コストの方向性】	上下水道部 下水道課	
③-1	下水道維持管理事業 ・流域下水道接続点等21箇所において、水質検査を実施する。	【実績】 【課題】				【成果の方向性】 【コストの方向性】	上下水道部 下水道課	

■ 施策の方向性(改善策)

次年度の方向性	
---------	--

担当課評価	
A	事業
B	事業
C	事業

成果の方向性		コストの方向性	
拡充	事業	拡大	事業
現状維持	事業	現状維持	事業
縮小	事業	縮小	事業
休廃止	事業	休廃止	事業

政策名	7 スマートでスリムな行政運営の確立のために。(行政経営)
施策名	30 行財政運営の最適化

★ 目指す姿

行政活動に対する検証と改善が行われ、健全な財政基盤のもと、持続可能な行財政運営が実現している。



SDGs該当分野



■ 施策の主な取り組み

① 総合計画・総合戦略の進行管理

総合計画(総合戦略を含む)に位置付ける施策及び事業に対する行政評価や都市経営市民会議の開催等により、事業の検証・改善を繰り返し行うことで、最適で計画的な行政運営を推進します。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①-1	総合計画進行管理事業	総合計画(総合戦略含む)に位置付ける施策及び事業の行政評価を毎年度実施し、PDCAサイクルによる効果検証・改善を図ります。また、総合計画(総合戦略含む)の進行状況や行政改革等に関して審議や検討を行う都市経営市民会議を開催し、各所管へのフィードバックを行います。	—

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
「第5次香芝市総合計画」における各指標の達成割合	%	目標を達成した指標の数/全指標の数(本指標は除く)	—	80	80	80
「第2期香芝市総合戦略」における各指標の達成割合	%	目標を達成した指標の数/全指標の数(本指標は除く)	—	80	80	80

前年度実績値 (R2)	今年度の進捗				担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	
—	80				企画部 企画政策課
—	80				企画部 企画政策課

② 財政運営の健全化

各施策や事業を効率的・効果的に実施するため、財源の確保や将来の財政見通しを立てるにより、健全で持続可能な財政運営を推進します。

※参考指標とする理由及び実施する事業を設定していない理由  
財政指標は市の全事務事業を適正かつ効率的に実施した結果として表れる数値であり、指標の達成を優先して目指すものではないため、参考とすべき指標として位置付けます。また、特定の事業に係る指標ではなく、市の事業全体の結果に影響される指標であるため、実施する主な事業は設定していません。

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目指すべき 方向性
市債残高	億円	市債残高	305	減少させる
実質公債費比率	%	収入に対する負債返済の割合を示すための指標	15.2	県内市町村平均値を目指す
財政調整基金残高	億円 (%)	財政調整基金残高/標準財政規模	14.6 (9.6)	標準財政規模の 10%程度以上を確保する

前年度実績値 (R2)	今年度の進捗				担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	
300					財務局 財政課
13.5					財務局 財政課
15.8 (10.0)					財務局 財政課

③ 公有財産の維持管理及び活用

「公共施設等総合管理計画」に基づき、財政負担の平準化を図り、良質で持続可能な公共施設サービスを提供します。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
③-1	公有財産維持管理事業	施設の安全性や機能性を保つため、定期点検や改修工事等の維持管理業務を実施します。また、「公共施設等総合管理計画」を更新するとともに、個別施設計画の策定・改訂を進め、計画に基づく公共施設の活用等を進めます。	●

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
個別施設計画策定数	件	個別施設計画を策定した施設類型数(平成30年度からの累計)	11	13	15	15

前年度実績値 (R2)	今年度の進捗				担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	
11	11				総務部 管財課

■ 実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価			今後の方向性		担当所管
		実績と課題	担当課 評価 (A/B/C)	3視点 必要性 有効性 効率性	所管判定		
方向性の内容					成果の方向性	コストの方向性	
①-1	総合計画進行管理事業	【実績】 ・総合計画(総合戦略を含む)に位置付けた事業の行政評価の実施 (事前記入及び説明会:6月、事中評価:9月、事後評価:1月) ・都市経営市民会議を開催(実施事業の進捗管理、受益者負担適正化方針の審議等)し、審議結果を所管へフィードバック 【課題】				【成果の方向性】 ・ 【コストの方向性】 ・	企画部 企画政策課
③-1	公有財産維持管理事業	【実績】 ・財政負担の軽減と集中するコストの平準化を目的に、個別施設ごとの具体的な対応を示す個別施設計画を策定検討する。 ・令和2年度までに公共施設等総合管理計画の施設類型方針に基づいた策定は完了したが、令和3年度以降は施設類型方針以外の施設についても策定検討を進めていく。 【課題】				【成果の方向性】 ・ 【コストの方向性】 ・	総務部 管財課



■ 施策の方向性(改善策)

次年度の方向性	
---------	--

担当課評価		成果の方向性				コストの方向性			
A	事業	拡充	事業	拡大	事業	現状維持	事業	現状維持	事業
B	事業	現状維持	事業	現状維持	事業	縮小	事業	縮小	事業
C	事業	休廃止	事業	休廃止	事業	休廃止	事業	休廃止	事業

政策名	7 スマートでスリムな行政運営の確立のために。(行政経営)
施策名	31 歳入の確保と財源の創出

★ 目指す姿

市税や保険料が公正公平に負担されるとともに、新たな財源により歳入を確保できている。



SDGs該当分野



■ 施策の主な取り組み

① 適正課税の推進および収納(徴収)率の向上

公平・公正の観点から市税の適正課税を推進することにより、市民の信頼及び税収の確保を図ります。また、納付環境の利便性向上および納付意欲の向上に向けた取り組みを推進することにより、市税や保険料の収納(徴収)率の向上を図ります。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①-1	自主納付推進事業(税)	口座振替やコンビニ納付などの既存の納付方法に加え、キャッシュレス決済などの電子納付環境を整備することで、時間や場所に捉われない納付方法を提供し、納付意欲の向上を図ります。	—
①-2	自主納付推進事業(保険料)	口座振替やコンビニ納付などの既存の納付方法に加え、キャッシュレス決済などの電子納付環境を整備することで、時間や場所に捉われない納付方法を提供し、納付意欲の向上を図ります。	—
①-3	市民税・固定資産税の課税適正化事業	申告催告、実地調査及び関係官署等への照会などを通じて、賦課の公平化・適正化に継続的に取り組みます。	—

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
市税収納率(現年分)	%	収納済額/収納すべき額	99.05	99.1	99.2	99.3
国保料収納率(現年分)	%	収納済額/収納すべき額	93.24	95.0	95.8	96.6

前年度実績値 (R2)	今年度の進捗				担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度 R6年度比)	
98.9	99.1				財務局 納税促進課
93.66	93.7				健康部 保険料収納課

コロナ禍の影響により収納率が減少

② 財産調査の強化と適正な債権管理

財産調査の徹底により、適正な債権管理を推進します。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②-1	滞納整理適正化事業(税)	預貯金や生命保険などの換価可能な財産の調査および消滅時効の管理を行い、差押え・換価・執行停止などを適正に行います。	—
②-2	滞納整理適正化事業(保険料)	預貯金や生命保険などの換価可能な財産の調査および消滅時効の管理を行い、差押え・換価・執行停止などを適正に行います。	—

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
滞納繰越額の減少率	%	(前年度滞納繰越額 - 当該年度滞納繰越額) / 前年度滞納繰越額	4.7	4.8	4.9	5.0

前年度実績値 (R2)	今年度の進捗				担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度 R6年度比)	
2.7	3				財務局 納税促進課

令和2年度は滞納整理を重点的に進め、前年度滞納繰越額は減少した一方で、当該年度はコロナ禍の影響で想定より未納額が増加したため、減少率が低下

③ 自主財源の確保

本市への寄附を促進し、財源の確保を図ります。また、受益者負担の適正化やネーミングライツ、企業版ふるさと納税、未利用公有地の活用などの新たな財源確保を検討します。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
③-1	ふるさと寄附金事業	地域産品の発掘・企画によりふるさと納税返礼品の拡充を図り、サイト掲載ページの充実や市外へのPR活動を通じて、本市への寄附を促進するとともに、本市の魅力を発信します。	●

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
ふるさと寄附金受入額	万円	ふるさと納税による寄附金受入額	5,110	7,000	8,500	10,000

前年度実績値 (R2)	今年度の進捗				担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度 R6年度比)	
5,272	6,000				企画部 企画政策課

■ 実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価				今後の方向性				担当所管
		実績と課題	担当課 評価 (A/B/C)	3視点 必要性 有効性 効率性	所管判定 成果の方向性 コストの方向性	方向性の内容				
①-1	自主納付推進事業(税)					【実績】 ・ページ及びスマホサービスを利用した口座振替の奨励(HP、広報、広報お知らせ版、各種通知書(59,000枚)への折込) ・コンビニ収納の啓発、コールセンターによる電話催告(5,000件) ・現年度課税分の催告の通知(1,200件)及び差押え等滞納処分(300件) 【課題】 ・				【成果の方向性】 ・ 【コストの方向性】 ・
①-2	自主納付推進事業(保険料)	【実績】 ・コールセンターによる納付勧奨を毎月4回実施し、現年度保険料の収納率を向上させる。 ・口座振替勧奨通知やページ・口座振替サービスの推奨により口座振替率の向上を図る。 ・コンビニ納付やスマホ収納の利用を奨励し、利便性を図ることで納付意欲を高める。 【課題】 ・				【成果の方向性】 ・ 【コストの方向性】 ・	健康部 保険料収納課			
①-3	市民税・固定資産税の課税適正化事業	【実績】 ・市民税(個人及び法人)及び固定資産税(償却資産)未申告者の捕捉及び申告勧奨 ・国税申告の内容との突き合わせ ・未評価家屋の解消 【課題】 ・				【成果の方向性】 ・ 【コストの方向性】 ・	財務局 税務課			
②-1	滞納整理適正化事業(税)	【実績】 ・速やかな財産調査と滞納処分(33,000件) ・適正な分納計画の履行(1,200件) ・適正な執行停止の遂行(700件) 【課題】 ・				【成果の方向性】 ・ 【コストの方向性】 ・	財務局 納税促進課			
②-2	滞納整理適正化事業(保険料)	【実績】 ・夜間窓口での納付相談を実施する。 ・短期保険証、催告書等を端緒とした滞納者との折衝を実施。 ・滞納者に対し早期の財産調査、実地調査を実施し財産差押、執行停止及び不納欠損を適正に実施する。 【課題】 ・				【成果の方向性】 ・ 【コストの方向性】 ・	健康部 保険料収納課			
③-1	ふるさと寄附金事業	【実績】 ・ふるさと納税協力事業者の新規獲得 ・ふるさと納税返礼品の拡充およびブラッシュアップ ・ふるさと納税(企業版ふるさと納税を含む)のPR 【課題】 ・				【成果の方向性】 ・ 【コストの方向性】 ・	企画部 企画政策課			



■ 施策の方向性(改善策)

次年度の方向性	
---------	--

担当課評価	
A	事業
B	事業
C	事業

成果の方向性		コストの方向性	
拡充	事業	拡大	事業
現状維持	事業	現状維持	事業
縮小	事業	縮小	事業
休廃止	事業	休廃止	事業

政策名	7 スマートでスリムな行政運営の確立のために。(行政経営)
施策名	32 情報とICTの利活用

★ 目指す姿

ICTを活用し、市民がそれぞれのニーズに合った方法で情報やサービスを利用できている。



SDGs該当分野



■ 施策の主な取り組み

① 市政情報の提供と広報力の強化

市のホームページにおけるアクセシビリティの確保やオープンデータの充実などにより、利用しやすい市政情報の提供に努めます。また、さまざまな情報媒体の活用や効果的な表現による情報発信を積極的に行い、市内外への発信力を強化することで、市のイメージや知名度の向上を図ります。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①-1	広報紙発行事業	市民への情報発信媒体として、市政情報や市民のニーズに応じた適切で分かりやすい情報の提供を行い、市の魅力を発信します。	—
①-2	広報及び報道機関連携事業	SNS及びメディアの活用、報道機関への情報提供により、市政情報及び本市の魅力を市内外へ広く発信します。	●

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
市ホームページ「広報」平均アクセス数	件	市ホームページ「広報紙」ページの一月当たりの平均アクセス数	770	960	1,150	1,340
SNSのフォロワー数	人	本市が利用するSNSのフォロワー数の合計	284	560	840	1120
オープンデータ公開数	件	オープンデータとして公開されているデータ数	0	5	10	14

前年度実績値 (R2)	目標値	今年度の進捗			担当所管
		中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	
1,155	1,340				企画部 秘書広報課
421	450				企画部 秘書広報課
1	2				企画部 ICT推進課

令和2年12月にLINE公式アカウントを導入したこと等によりアクセス数が増加。(LINEから広報紙へのアクセスリンクあり)

② ICTを活用した業務の効率化・利便性の向上

Society5.0に対応し、さまざまな行政課題の解決に積極的にAIなどのICTを活用し、業務の効率化および利便性の向上を図ります。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②-1	ICT活用事業	行政事務や市民サービス等に積極的にICTを利用することで、業務の効率化や市民の利便性の向上を促進します。	—

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
電子申請・施設予約利用件数	件	奈良電子自治体共同運営ポータルサイト「e古都なら」による電子申請・施設予約件数	1,423	2,700	3,000	3,300
AIチャットボット利用件数	件	AIチャットボットの利用件数	0	19,000	20,000	21,000

前年度実績値 (R2)	目標値	今年度の進捗			担当所管
		中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	
1,431	2,000				企画部 ICT推進課
2,525	5,000				企画部 ICT推進課

③ 情報セキュリティの確保

ICTを利用した市民サービスや組織内利用システムの安定的な運用のため、組織内の情報機器を不正アクセスやコンピュータウイルス等の脅威から守り、情報ネットワークや職員の使用する情報端末のセキュリティを確保します。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
③-1	情報セキュリティ対策事業	情報セキュリティに対する職員研修の実施や、セキュリティ対策システムの導入および維持管理などを行います。	—

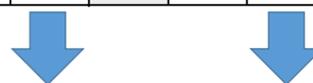
◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
セキュリティインシデント件数	件	セキュリティインシデント発生件数	0	0	0	0

前年度実績値 (R2)	目標値	今年度の進捗			担当所管
		中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	
1	0				企画部 ICT推進課

■ 実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価			今後の方向性		担当所管
		実績と課題	担当課 評価 (A/B/C)	3視点 成果の方向性 必要性 有効性 効率性	所管判定 成果の方向性 コストの方向性	方向性の内容	
①-1	広報紙発行事業						【実績】 ・広報かしば、広報かしばお知らせ版を月2回、計23回発行(1月号のお知らせ版は広報かしば12月号と合併) 【課題】 ・紙面の改善に向け、UDフォントを導入する
①-2	広報及び報道機関連携事業	【実績】 ・LINEを活用した、適時の情報発信 ・報道機関への市政情報の積極的な提供 ・イベントや催しなどはテレビを活用し、情報発信				【成果の方向性】 ・ 【コストの方向性】 ・	企画部 秘書広報課
②-1	ICT活用事業	【実績】 ・電子申請が可能な手続きの拡大。 ・公式サイト経由のAIチャットボットの利便性の向上。 ・AIチャットボットのゴミ分別に係るFAQ対応。				【成果の方向性】 ・ 【コストの方向性】 ・	企画部 ICT推進課
③-1	情報セキュリティ対策事業	【実績】 ・eラーニングによるセキュリティ研修2件(マイナンバーに係る研修・情報セキュリティに係る研修)及び集合研修を1件(新規採用職員向け研修)の実施。 ・二要素認証システムについてマスク着用時も顔認証できるよう対応する。				【成果の方向性】 ・ 【コストの方向性】 ・	企画部 ICT推進課



■ 施策の方向性(改善策)

次年度の方向性	
---------	--

担当課評価		成果の方向性		コストの方向性	
A	事業	拡充	事業	拡大	事業
B	事業	現状維持	事業	現状維持	事業
C	事業	縮小	事業	縮小	事業
		休廃止	事業	休廃止	事業

政策名	7 スマートでスリムな行政運営の確立のために。(行政経営)
施策名	33 行政組織の活性化・組織力の強化

★ 目指す姿

付加価値の高い行政サービスが提供できるよう、職員一人ひとりが知識・技能・意欲の向上に努めている。



SDGs該当分野



■ 施策の主な取り組み

① 適正な人事評価

評価基準を充実させ評価者に依存しない評価と昇任等へ反映できる制度を確立し、職員の育成と士気高揚を図ります。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①-1	人事評価適正化事業	評価指標の細分化や適正化を進め、公正な人事評価を実現するとともに、これを昇任等に確実に反映します。	—

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
人事評価アンケート調査満足度	%	人事評価アンケートで「良い」「とても良い」と回答した人数/全回答者数(市職員対象)	—	70	80	90

前年度実績値 (R2)	今年度の進捗					担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	目標達成度 (R6年度比)	
—	60					企画部 人事課

② 職員研修の推進

タイムマネジメントやリスクマネジメントの他、法律的素養及び接遇力の向上に重点をおくとともに、時勢に応じて求められる能力の向上に資する研修を実施します。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②-1	研修推進事業	個々の職員への重要と思う内容や分野の調査を踏まえた上で、より効果的な研修を企画・実施するとともに、その他必要となる研修の回数・内容の拡充を図ります。	—

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
研修実施回数	回	人事課主催の研修実施回数	10	11	12	12

前年度実績値 (R2)	今年度の進捗					担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	目標達成度 (R6年度比)	
7	10					企画部 人事課

③ 効果的な人員配置

各法令等の制定・改正・廃止等や社会動向を踏まえた上で必要な人員を見定め、正規職員のみならず、各種人的資源を活用し、より効果的・効率的な人員配置を目指します。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
③-1	超過勤務時間数削減推進事業	超過勤務の実態把握に努め、適宜、適切となるよう人員の配置を見直します。	—
③-2	ヒアリング調査事業	本人またはその上司・同僚等から職員の不調につながる事象の通報があった場合に、必要と考えられる場合に本人を含む関係人へヒアリング調査を行い、本人へのフォローアップと不調因子の改善、その発生の防止を図ります。	—

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
超過勤務時間数	時間	選挙や災害対応を除く超過勤務の総時間数	38,000	37,240	36,100	34,200
メンタルヘルス不調者数	人	メンタルヘルス不調による病気休暇取得者数	7	5	3	0

前年度実績値 (R2)	今年度の進捗					担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	目標達成度 (R6年度比)	
36,000	35,800					企画部 人事課
5	5					企画部 人事課

■ 実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価			今後の方向性			担当所管
		実績と課題	担当課 評価 (A/B/C)	3視点 必要性 有効性 効率性	所管判定		方向性の内容	
今年度の事業実施計画					成果の方向性	コストの方向性		
①-1	人事評価適正化事業	【実績】 ・ 【課題】 ・ 評価者によって差異が出ないように実施する必要があること、また今年度より人事評価についてシステム対応していることから、今年度は、人事評価アンケートを実施し状況確認を行う。					【成果の方向性】 ・ 【コストの方向性】 ・	企画部 人事課
②-1	研修推進事業	【実績】 ・ 【課題】 ・ 令和2年度より、新型コロナウイルス感染症の影響により、研修実施について慎重に実施していく必要がある中で、職員の能力向上を進めていくために、真に必要な研修内容を吟味し、例年並の研修回数の実施を行えるようにする。					【成果の方向性】 ・ 【コストの方向性】 ・	企画部 人事課
③-1	超過勤務時間数削減推進事業	【実績】 ・ 【課題】 ・ 超過勤務時間については、各職員が超過勤務に対する意識(本日に今しなければいけないものなのか、課員と連携してできないか、業務効率できないか)付を再度していき、時間数の低減に努めていく。					【成果の方向性】 ・ 【コストの方向性】 ・	企画部 人事課
③-2	ヒアリング調査事業	【実績】 ・ 【課題】 ・ 職員に対する健康相談室の実施について、周知啓発を進めるとともに、直接相談がある場合は、職員にとって働きやすい環境であるかを確認しながら、病気休暇取得数を減らすことができるよう努めていく。					【成果の方向性】 ・ 【コストの方向性】 ・	企画部 人事課

■ 施策の方向性(改善策)

次年度の方向性	・ ・
---------	--------

担当課評価	
A	事業
B	事業
C	事業

成果の方向性		コストの方向性	
拡充	事業	拡大	事業
現状維持	事業	現状維持	事業
縮小	事業	縮小	事業
休廃止	事業	休廃止	事業